



CEATEC 2025

実施報告書

2025年10月14日(火) ▶ 17日(金)

幕張メッセ

主催

JEITA 一般社団法人電子情報技術産業協会

共催

CIAJ 一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会



一般社団法人ソフトウェア協会

CEATEC 2025

トピックス

26 回目の開催となった CEATEC 2025 は、「Innovation for All」を開催テーマに掲げ、最先端技術の披露にとどまらず、テクノロジーが社会や生活にいかに関与し得るかを具体的に示すことにより、人々の共感と参画を促し、イノベーションの社会実装を加速させることを目的として開催した。

展示会場は、General Exhibits、パートナーズ & グローバルパーク、AX（AI Transformation）パーク、ネクストジェネレーションパークの 4 つのエリアで構成され、計 810 社・団体（うち海外出展者は 29 の国・地域から 156 社・団体）が出展した。特に、スタートアップおよび大学・研究機関の出展は、過去最多となる 232 社・団体に達し、次世代を担う多様なプレーヤーが集結した。併設のコンファレンスでは、ピッチイベントを含む計 222 本のセッションを実施し、活発な議論と交流が展開された。会期中の登録来場者数は合計 98,884 人であった。

開催初日となる 10 月 14 日（火）の夜には、パレスホテル東京においてオープングレセプションを実施した。一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）漆間啓会長による主催者代表挨拶に続き、石破茂内閣総理大臣から寄せられたビデオメッセージを上映した。来賓として、平将明デジタル大臣、古賀友一郎経済産業副大臣、川崎ひでと総務大臣政務官、一般社団法人日本経済団体連合会 東原敏昭審議委員会副議長を迎え、それぞれからご祝辞を賜った。出展企業の経営幹部、大使館関係者、官公庁関係者など約 700 名が出席し、交流を深めた。

また、会期 3 日目の 10 月 16 日（木）には、現職の内閣総理大臣として初めて、石破茂内閣総理大臣に展示会場をご視察いただいた。石破内閣総理大臣は、AI を活用したドライバーの運転技術分析・評価技術をはじめ、最先端の技術やサービスをご覧になり、出展各社の展示に高い関心を示された。このほか、平将明デジタル大臣をはじめ、政府・官公庁の幹部など多くの要人にもご来場いただき、業界の最新動向と技術力を幅広く発信する機会となった。

エリア構成

AX パーク

生成AI、産業AI、通信インフラ、音声・映像認識、セキュリティなど、社会のあらゆる領域に広がる最新技術と課題が集まるAXパークは、AI時代を先導する知見と出会える貴重なエリア。

General Exhibits

Society 5.0 の実現に向け、AI が導入された未来を見据えたテクノロジー、電子部品・デバイス、ソリューションやサービス全般のエリア。

ネクストジェネレーション
パーク
(スタートアップ&ユニバーシティ)

「次世代のイノベーションエコシステム」の実現を目指し、国内外のスタートアップ、大学・研究機関、大企業の新規事業部門、そして支援者が一堂に会する価値創造のエリア。

パートナーズ&グローバルパーク

ウェルビーイングやサステナビリティといった多様なテーマを設定し、あらゆる産業・業種のパートナーとともにCEATECの開催趣旨である Society 5.0 の未来社会を体現する「共創」エリア。

コンファレンス

幕張メッセとオンラインで000の多彩なセッションを開催。また、国際会議場でのセッションに加えて展示会場内でオープンステージを展開。『AIリアルタイム翻訳システム』を導入、60以上の言語に対応。

目次

トピックス	02	オープングレセプション・出展者ネットワーキングイベント ..	14
CEATEC AWARD	04	コンファレンス	15
エコ&デザインチャレンジ	07	実績データ	24
会場MAP	08	広報/プロモーションデータ	27
出展者リスト	13	開催概要	28

来場者プロフィール

来場者数

98,884名



自動車・輸送用機器

約3,000名



製造・機械・精密機器

約11,000名



電子情報通信機器

約4,000名



電子部品・電子デバイス

約7,000名



通信サービス

約3,000名



情報処理・情報サービス

約5,000名



ソフトウェア

約3,000名



住宅・建設・不動産

約3,500名



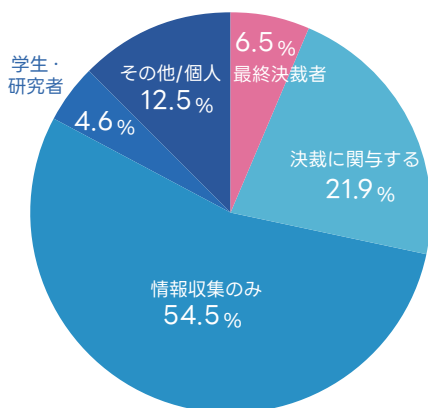
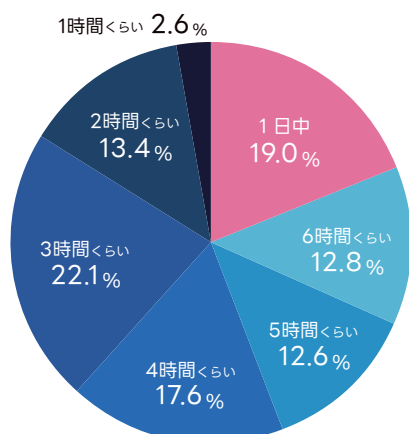
官公庁・団体

約3,500名



学生

約8,000名

来場者の
特徴来場者の
滞在時間

出展者プロフィール

出展者数

810社/団体

スタートアップ/大学研究機関 出展者数

232社/団体

海外 出展者数

29か国/地域より 156社/団体

CONFERENCE

セッション数

226

登壇者数

655名

延べ登録聴講者数

27,621名



広報/プロモーション

登録プレス数

635名

国内新聞

300件

国内テレビ
放映/放送

47番組 2時間26分54秒



CEATEC[®] AWARD

CEATEC AWARD 2025はSociety 5.0の実現を目指し、新たな価値と市場の創造・発展に貢献、関係する産業の活性化に寄与している優れたプロジェクト、技術、製品、サービス、またはそれを支えるソフトウェア、アプリケーション、コンポーネント、デバイス等を表彰するもので、CEATEC AWARD 2025 審査委員会による厳正な審査により選出されました。なお、会期1週間前の10月7日には、大臣賞・部門賞、および希望者による簡易展示を実施し、メディア等の取材を受けました。



電子制御式フェーズドアレイアンテナ 搭載 小型・軽量 LEO 衛星向けユー ザー端末試作機

シャープ株式会社

ブース番号 3H223

スマートフォンの設計で培った小型・軽量化技術や通信技術を活用し、建機・農機／船舶／車／ドローンなど、様々な用途へ応用可能な、電子制御式フェーズドアレイアンテナ搭載小型・軽量LEO(Low Earth Orbit 低軌道)衛星向けユーザー端末試作機。



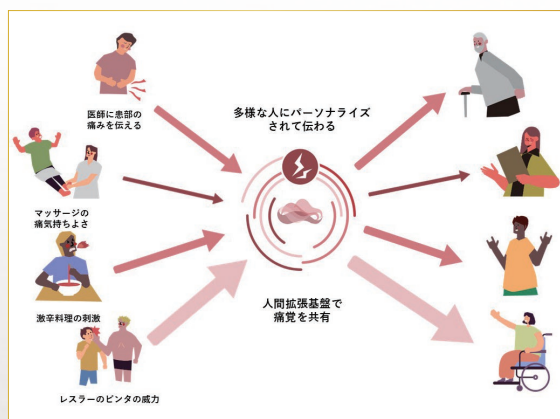
“痛み”の共有による相互理解の深化を 実現するプラットフォーム

株式会社NTTドコモ

ブース番号 1H007

言語化が難しい要素の一つである“痛み”を他人と共有することを可能にした世界初[※]の基盤技術。人が感じる身体的・心理的な痛みを他者に伝えるのは難しく、これまででは個人の主観に基づく推測に頼らざるを得ない場面も多く、客観的な理解が困難でした。本技術により、相手の痛みを自分ごととして体感・理解でき、医療におけるコミュニケーションの質の向上やカスタマーハラスメント・SNS などの誹謗中傷の対策などに貢献します。

※出典：NTTドコモ応募資料



AI 時代の信頼できる音声入力を実現 するマスク装着型デバイス mask voice clip

株式会社村田製作所

ブース番号 2H325

大規模言語モデル(LLM)の進化により、自然言語での操作や記録・入力業務を行う未来が現実味を帯びる中、本デバイスはその前提となる「信頼できる音声入力」を構面から実現します。マスク表面の微細な振動を圧電フィルムセンサで検出することで、騒音下や複数話者が同時に発話する環境でも、話者本人の音声のみをリアルタイムかつ高精度に抽出。医療・製造・保守点検など、多様な現場でのAI 活用を後押しする技術です。



CEATEC AWARD 2025 審査委員会

学会・大学関係者（順不同）

一般社団法人情報処理学会 / 一般社団法人電子情報通信学会 / 一般社団法人映像情報メディア学会 / 一般社団法人電気学会 / 国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学

総研・メディア関連（順不同）

株式会社MM総研 / 日刊工業新聞社 / 日経BP総合研究所 / アイティメディア株式会社 / 株式会社テクノコア / WovenCapital

オブザーバー（順不同）

総務省／経済産業省／デジタル庁 ※建制順

一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA) ※CEATEC 2025主催団体

一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ) / 一般社団法人ソフトウェア協会(SAJ) ※CEATEC 2025共催団体

一般社団法人日本自動車工業会 ※CEATEC 2025後援団体

株式会社トライビート



イノベーション部門賞



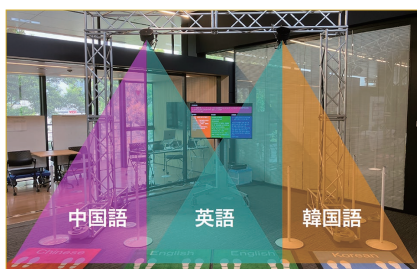
ZINNSIAはありふれた素材に命を吹き込みます

様々な素材をタッチパネルやスイッチに変えるセンサー / ZINNSIA(ジンシア)

株式会社ジャパンディスプレイ

ブース番号 2H202

本製品は、木材・石・布・石膏ボードなどの素材を介してセンシングできる革新的な超高感度タッチセンサーです。例えば床裏面に設置するだけで、足で床を踏むと照明が点くといった直感的な操作が可能になります。センサーはシート状で、素材の裏に貼るだけでよい。ため、形状や用途に応じた柔軟な設置が可能です。素材の質感や美しさを損なうことなく空間デザインの自由度を高め、これまでにないインタラクティブな体験を実現します。

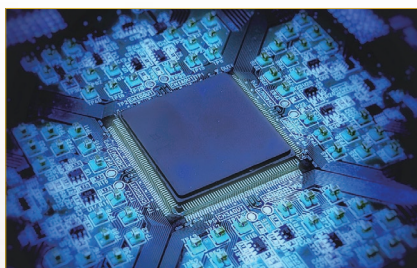


多言語同時通訳とマルチスポット再生技術

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)

ブース番号 1H009

AIを活用し音声認識した結果を同時通訳者のように文より短い単位(チャンク)に分割・翻訳する多言語同時通訳と、特定エリアに特定の音を届けられるマルチスポット再生技術を採用した複数のスピーカーを組み合わせることにより、連続した発話を高速・正確に翻訳し画面に表示させるとともに、それぞれの言語の合成音声を各言語のエリアに同時に届けることを実現しています。

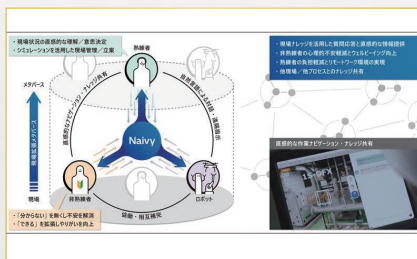


エッジ向けアナログリザーAIチップを用いたリアルタイム学習機能付きセンサシステム

TDK株式会社

ブース番号 6H180

生成AIによるクラウドAIへの依存による電力消費とレイテンシの遅延はAIの発展の大きな障害になっています。リザーAIは人の脳の小脳を模倣したデバイスであり、ロボットやヒューマンインタフェースなど時系列の情報処理が得意です。リザーAIはリザー部分に自然現象を用いることで学習する部分を小さくでき、エッジでAIを使いながらリアルタイム学習によってユーザーの個性に合わせたセンサへの応用が可能です。

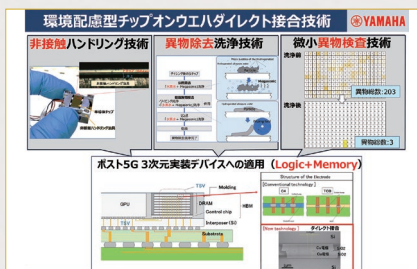


次世代AIエージェント「Frontline Coordinator - Naivy」

株式会社日立製作所

ブース番号 5H220

製造・点検・保守など現場の作業判断を支援するAIエージェント「Naivy」を開発。ワーカーの作業効率向上と負担軽減の両立のため、AIをフィジカル領域に適用可能にしました。現場でリアルタイムに生じる事象をAIで解析し、独自のメタ空間に蓄積したドメインナレッジと比較することで、対処すべき機器を特定し、状況に応じた作業手順を、直感的に分かりやすくナビゲーションする世界初※の技術を実現しました。※出典：日立製作所応募資料



AIの進化に貢献する、環境配慮型チップオンウェハダイレクト接合技術の開発

ヤマハロボティクス株式会社／産業技術総合研究所／東京理科大学

ブース番号 4H220

ポスト5G社会に必要な先端デバイスを実現するには、複数の半導体チップをダイレクト接合技術により、チップオンウェハで3次元実装する必要があります。しかし従来は、ウェハダイシング後の半導体チップ表面に異物が残留し、接合品質に影響を与え、実用化の障害となっていました。本事業では、半導体チップ表面を清浄に洗浄・前処理し、それを完全非接触でハンドリングする技術開発を行いました。この技術成果を発表します。



入浴中の心拍センシング

リンナイ株式会社

ブース番号 1H318

持続的な健康で豊かな暮らしの実現に向け、入浴という毎日行う行為の中での心拍のセンシングを起点として、心身の状態を予測し、浴室での見守りやユーザーに合った入浴方法、癒し、生活習慣を提案していきます。そのための浴槽内心電計測モジュールとなります。



ネクストジェネレーション部門賞



触れて感じる、次世代の4D映像体験

TouchStar (東北大学事業化プロジェクト)

ブース番号 5H322

スマートフォンのバイブレータの常識を越える、自然でリッチな触覚体験を再生する次世代の振動提示を実現しました。大学研究の独自アルゴリズムにより、高周波から低周波まで幅広い触感を忠実に再現し、映像や音声に臨場感ある体感を付加します。スマートフォンとデジタルサイネージを融合した新しい体験型コンテンツを初公開すると共に、アーティストの技能や息づかいまで感じる新しい体感コンテンツの可能性を示します。



リアラボAI — 探索からラボ実験まで、研究の現場を動かす自律型AIエージェント

ロート製薬株式会社／株式会社フツパー

ブース番号 6H150

「ヘルスケア・バイオ分野向け 標的探索AIオーケストレーター」：標的探索を必要とするあらゆる研究開発領域に対応するAIエージェント。研究者の意図を理解し実験設計を自動作成、公共データベースから最適な遺伝子発現データを自動で発見・評価。その後、クラウド上で大規模なバイオインフォマティクス解析をシームレスに実行。生成AIが全工程を管理・自動化することで、専門知識を問わず、迅速かつ再現性の高い薬剤標的候補の探索を実現。ロート製薬にて実用性を実証済み。

「デュアルエージェントAIによる処方設計と実験実行の自律化」：処方研究とロボット実験を統合し、研究者が自然言語で指示するだけで「設計→計画→実行→記録」を自動生成するAIプラットフォーム。単なる研究レベルの試行ではなく、実験ロボットの複雑な制御ルールをAIが解釈・変換し誤操作を防止、再現性・安全性を担保しつつ実運用に耐える仕組みを構築。化粧品・医薬・化学・食品など多領域に展開可能で、共同開発者であるロート製薬にて既に実用性を実証済み。



コ・クリエイション(共創)部門賞



ビューティ&ヘルスケアを変革する、産業を越えた共創 —RNAで繋がる花王・アイスタイル・キリンによる未来創出—

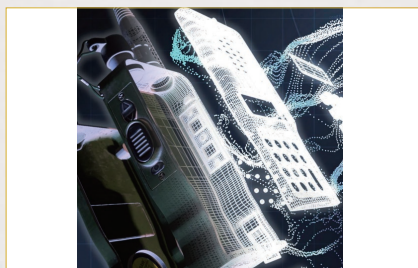
RNA共創コンソーシアム

ブース番号 4H213

美容健康市場においては、幅広い商品提案がなされ市場は伸長しています。一方で、消費者視点では、膨大な商品や情報が溢れかえり、自分に価値あるものを選ぶことが難しくなっています。我々は、業界／業種を横断した商品選択・提供が可能な仕組みを提供します。新たに開発した、遺伝子発現情報に基づいた分類(肌遺伝子モード判定)技術と日本最大の美容プラットフォームや美容健康の大手メーカーとの共創で社会変革を推進します。



グローバル部門賞



Code Metal - Generate Verified, Hardware-Ready Code with Provable AI

Code Metal, Inc.

ブース番号 5H013

コードメタルは、自動車、ロボティクス、産業、半導体産業におけるソフトウェア開発に取り組んでいます。環境をまたいだコードのシームレスな変換を実現することで、そのプラットフォームは顧客がプログラミング言語間を移動し、多様なハードウェアターゲット向けに最適化ソリューションとなります。最先端のAIと厳密な形式手法を組み合わせることで、コードメタルは類を見ない信頼性の高いAIシステムを開発しました。本プラットフォームは既存の顧客コードベースと直接連携し、あらゆる開発タスクについて透明性が高く追跡可能なレポートを提供します。従来数か月から数年を要したプロセスが数日で完了し、信頼性を維持しながらイノベーションを加速します。この画期的な技術により、組織はワークフローの近代化、効率性の解放、そして先進製品の市場投入をかつてない速さで実現できます。フォーチュン100企業に既に採用されているコードメタルは、これまで手の届かなかった産業分野において、信頼できるAIがもたらす現実世界のメリットを実証しています。



モビリティ部門賞

フィーリング

Humonii (ジャパンモビリティショー 2025 スタートアップ出展者)

車いすユーザの3名に1名はうつ病を患う傾向があり、精神面への負担は甚大です。そのため、当事者が自己効力感を抱き主体的な生活を送るための支援が必要です。我々は、体幹を使った操作のハンズフリー半自動車いす「Feeling(フィーリング)」を届けることで、入院時から退院後の自己実現までの主体的な未来を一気通貫で支援します。

①病院や介護施設での主体的な院内生活、②担える仕事の拡大、③スポーツや娯楽への参加などを支援します。



ジャパンモビリティショー2025(10月30日(木)~11月9日(日)・東京ビッグサイト)のスタートアップ出展者のうち、実用化可能性や社会貢献度が評価された企業に「CEATEC AWARD 2025 モビリティ部門賞」を贈呈します。

2025
新設

ECO & Design Challenge

本制度は、一般社団法人日本イベント産業振興協会(JACE)の協力のもとに実施されたもので、未来社会にふさわしい、持続可能かつ魅力的な展示会のあり方を追求し、来場者に“ワクワク”を提供する空間づくりを促進することで、新たな価値と市場の創造・発展に寄与し、産業のさらなる活性化を図ることを目的として本年より制定されました。

CEATEC 2025 エコ&デザインチャレンジ審査委員会

一般社団法人日本イベント産業振興協会(JACE)サステナビリティ委員会
一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)デザイン部会

CEATEC 2025 エコ&デザインチャレンジ

優秀賞



NECパーソナルコンピュータ株式会社 ブース番号 2H411

6ブースと限られたスペースながら導線設計に工夫があり、4方向開放により、ブース内へのアプローチが可能になっており、加えてUX価値の高い展示もあり、企業姿勢が伝わる構成でした。CO2削減への意識も高く、ノベルティやユニフォームは他イベントでの共通利用としていました。装飾には一般的なリース品を多用していましたが、グレーのカラーで統一し光の演出をうまく活用することで、ブランド刷新を印象付けることができていたと感じました。なお、1ブースあたりの排出量削減ではトップクラスでしたので、エコ&デザインチャレンジを体現したブースとして評価されました。



シャープ株式会社 ブース番号 3H223

「働く」と「暮らし」の2ゾーン構成により、技術が生活にどう寄与するかを明快に伝えるブースになっており、説明員の対応も丁寧であり、学生を含む幅広い来場者にわかりやすい展示となっていました。軽量・コンパクトに収納できるmoloの什器を活用することでやわらかな印象にするとともに輸送効率にも貢献しており、他の展示会やイベントでも実践できる再現性も評価される構成となっていました。サプライヤー選定にサステナビリティ観点を取り入れ、出展者・制作者・施工者・運営者4者のサステナビリティへの取り組みが随所に行われていたことも評価ポイントとなりました。



ソニーグループ株式会社 ブース番号 6H303

透過性の布を用いた外壁や什器により、優しく洗練された空間が演出され、ブランディング効果の高いブースとなっていました。展示装飾をはじめ、什器・ノベルティ・ユニフォームなど細かな点に至るまで環境配慮に取り組みされており、グリーン電力の使用によるモニタ使用による排出量増加分にも対応されていました。受付の配置や導線設計にもホスピタリティが感じられ、筆談・UDトーク対応などのアクセシビリティにも取り組まれているほか、スタッフ数や役割のバランスなど、多様なサステナビリティへの取り組みが評価されました。



TDK株式会社 ブース番号 6H180

広いスペースと工夫された導線により、体験型展示やインタラクティブな要素が充実したブース構成となっていました。LEDを活用した外観は遠くからも強いインパクトを放ち、来場者の興味を引くデザインであり、照明や床面の配色もブランドカラーと調和し、空間全体に統一感がありました。巨大LED使用による排出量の増加はあるものの、展示装飾における廃棄物削減や物流効率の向上により長距離輸送時の排出量削減に取り組むなど、展示会制作全体においてサステナビリティに取り組まれていました。また、ブース内でのサステナビリティへの取り組みに関する展示も評価ポイントとなりました。

会場MAP



6H180

TDK

TDK

5H220

HITACHI

日立製作所

5H020

6H310

NEC

General Exhibits

内閣府宇宙開発戦略推進事務局/
準天頂衛星システムサービス

6H290

千葉県

アーティエンス・ラボ 日本省力技術研究所
Wellment プライムセンス
GRIPS 吉野機械製作所
シー・ヴィ・リサーチ ロック技研工業
ツバサ・フロンティア ワークロボティクス

6H170

カナデビア

5H391

KOA

5H390

KOA

5H210

アンリツ



国立情報学研究所/
京都大学/
情報セキュリティ大学院大学/
東京情報デザイン専門学校「CREST ZT-IoT」
CREST ZT-IoT

6H304

アビコムコンサルティング

6H303

ソニグループ

ネットワーキングラウンジ

NGP ステージ

ネクストジェネレーションパーク

中部大学 常川研究室 HDMedia
6H254 6H255 6H256 6H166 6H165 6H163
環境都市工学ネットワーク工学研究室 横浜国立大学 情報科学専門学校
6H252 6H251 6H250 6H162 6H161 6H159
Final Aim Lifepand Vixion studio bokan
ONDIQON AcCreator

いけりネットワークサービス
MITメディア スリーディー
6H248 6H247 6H157 6H155
6H244 6H243 6H242 6H154 6H153 6H151
POLYMERIZE
Hundredths Bocek
エスケーフライン
名古屋大学「AIP加速課題：発声技能拡張PJ」

Stayway ゼロワン
6H240 6H238 6H149 6H148 6H147
BLUEISH Kotozna フツバー アロマジョイン
6H236 6H234 6H146 6H144 6H143
CINCA Zero To One Lab TopoLogic Boce Japan
GREEN OFFSHORE

総合学園ヒューマンアカデミー IT カレッジ Graffiti
6H232 6H230 6H142 6H141 6H139
ECCコンピュータ専門学校 LensLink Future 3D Group
6H228 6H226 6H138 6H137 6H135
VMFI EnergyColoring 中央情報大学 DXデザイン研究所
東京理科大学河原研究室

情報文化学園アーツカレッジヨコハマ
東京電機大学 協調ロボティクス研究室 SuhyunTech
6H224 6H223 6H222 6H133 6H132 6H131
東京大学・慶應義塾大学・静岡大学 コシニアス
(D3-AIプロジェクト) 6H220 6H219 6H218 6H129 6H127
Flyby WhiteLab
東京農工大学 中山研究室 ノルディック・セミコンダクター

6H216 6H214 6H123 PFU
ideascale ジャパン インプレス 6H120
6H212 6H210 慶應義塾大学
工学院大学 千葉工業大学 ハブテックス研究センター
エモンシリカ

Qualiteq
6H208 6H207 6H206 GC-PF
オパトル 6H204 6H203 6H202
ロボセンサー技研 zeteoh
集積コムによる通信コンソーシアム

6H201 アルファドライブ
ユニッツ

6H111 6H006 6H005 6H004
ゼロワンブースター エキメノボリス
ゼラワンブースターキャピタル 大坂産業大学
ジャパンディスプレイ ジサイエ JIMED LocationMind
ディフュージョンズ JEITA ベンチャー賞
SpaceNet Japan
GenX ANAホールディングス
第一三共ヘルスケア

5H380 Smiley
アイスマイリー

5H207 CIAJ
オール光ネットワーク
パビリオン
総務省 大井電気
NTT 日本航空電子工業
1.Finity 丸文
NEC 三球電機製作所
アンリツ 情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ)

5H370 テックタッチ
5H205 Preferred Networks
5H101 IPA
情報処理推進機構
Industrial Technology Research Institute (ITRI)
Rebuff Reality

5H203 PLAUD
5H201 Speeda
5H011 5H010
5H002 5H003 5H004
センテリオンシステム
ティーツー・ラボラトリー
コグニティ

日本原子力研究開発機構
CyberneX エービーコミュニケーションズ
6H018 6H017 6H016 5H325
BizTech 6H015 6H014 6H013 東京工科大学
WeGlobal 日本工学院 ITカレッジ

山形大学 有機エレクトロニクスイノベーションセンター 高密度薄膜デバイス部門
山形大学 INOEL フレキシブルエレクトロニクス部門
山形大学 INOEL 有機・次世代太陽電池部門
6H012 6H011 6H010 5H324 5H322
セカフィー アンカーデザイン TouchStar
6H009 6H008 6H007 5H321 5H319
ニースエクスプローラ
TWOFOUR DESIGN WORKS
高弾性なweb3デジタルツインプロジェクト (ガイアックス)

東海大学 小坂研究室 エキメノボリス
6H110 6H004 6H003 6H002 6H001
ゼラワンブースターキャピタル 大坂産業大学
ジャパンディスプレイ ジサイエ JIMED LocationMind
ディフュージョンズ JEITA ベンチャー賞
SpaceNet Japan
GenX ANAホールディングス
第一三共ヘルスケア

6H105 6H006 6H005 6H004
ゼラワンブースター エキメノボリス
ゼラワンブースターキャピタル 大坂産業大学
ジャパンディスプレイ ジサイエ JIMED LocationMind
ディフュージョンズ JEITA ベンチャー賞
SpaceNet Japan
GenX ANAホールディングス
第一三共ヘルスケア

6H105 6H006 6H005 6H004
ゼラワンブースター エキメノボリス
ゼラワンブースターキャピタル 大坂産業大学
ジャパンディスプレイ ジサイエ JIMED LocationMind
ディフュージョンズ JEITA ベンチャー賞
SpaceNet Japan
GenX ANAホールディングス
第一三共ヘルスケア

5H380 Smiley
アイスマイリー

5H207 CIAJ
オール光ネットワーク
パビリオン
総務省 大井電気
NTT 日本航空電子工業
1.Finity 丸文
NEC 三球電機製作所
アンリツ 情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ)

5H370 テックタッチ
5H205 Preferred Networks
5H101 IPA
情報処理推進機構
Industrial Technology Research Institute (ITRI)
Rebuff Reality

5H203 PLAUD
5H201 Speeda
5H011 5H010
5H002 5H003 5H004
センテリオンシステム
ティーツー・ラボラトリー
コグニティ

日本原子力研究開発機構
CyberneX エービーコミュニケーションズ
6H018 6H017 6H016 5H325
BizTech 6H015 6H014 6H013 東京工科大学
WeGlobal 日本工学院 ITカレッジ

山形大学 有機エレクトロニクスイノベーションセンター 高密度薄膜デバイス部門
山形大学 INOEL フレキシブルエレクトロニクス部門
山形大学 INOEL 有機・次世代太陽電池部門
6H012 6H011 6H010 5H324 5H322
セカフィー アンカーデザイン TouchStar
6H009 6H008 6H007 5H321 5H319
ニースエクスプローラ
TWOFOUR DESIGN WORKS
高弾性なweb3デジタルツインプロジェクト (ガイアックス)

東海大学 小坂研究室 エキメノボリス
6H110 6H004 6H003 6H002 6H001
ゼラワンブースターキャピタル 大坂産業大学
ジャパンディスプレイ ジサイエ JIMED LocationMind
ディフュージョンズ JEITA ベンチャー賞
SpaceNet Japan
GenX ANAホールディングス
第一三共ヘルスケア

6H105 6H006 6H005 6H004
ゼラワンブースター エキメノボリス
ゼラワンブースターキャピタル 大坂産業大学
ジャパンディスプレイ ジサイエ JIMED LocationMind
ディフュージョンズ JEITA ベンチャー賞
SpaceNet Japan
GenX ANAホールディングス
第一三共ヘルスケア

6H105 6H006 6H005 6H004
ゼラワンブースター エキメノボリス
ゼラワンブースターキャピタル 大坂産業大学
ジャパンディスプレイ ジサイエ JIMED LocationMind
ディフュージョンズ JEITA ベンチャー賞
SpaceNet Japan
GenX ANAホールディングス
第一三共ヘルスケア



HALL 6



HALL 5



会場MAP



朝日エディック
Upside
アルケリス
Area Japan
コスモ計器
今野製作所
ソナス
FOVE
フォレストソー
MAZIN
モルフォ
ルーチェサーチ
FLARE SYSTEMS
ウィングロボティクス
iPresence
アストロデザイン
VRデザイン研究所
リプト
イイガ
アイダックス
マグナ・ワイヤレス
Haloworld

3H412



東京都立産業技術研究センター

3H223

SHARP

シャープ

2H325

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

村田製作所

IoTbank
OUTSENSE
a.s.i.s.t
イースポートギグ
イートラスト
woodinfo

OPI
ゴードルブロック
ゼタント
センチュリーアークス
ソナス
ソルビファイ

多田プラスチック工業
電子技販
Nishika
palan
Picto Care
ヒュージョン
MizLink

3H222

東京都中小企業振興公社

東京都中小企業振興公社
(東京ビジネスフロンティア)

3H011

コーデンシ

2H324

Speeda

3H411

Taiwan Electrical and
Electronic Manufacturers'
Association

立昌先進科技
聯宇電子
高柏科技
萬達光電科技
虹彩光電
台灣艾華電子工業

輝騰
功得電子工業
志豐電子
峻豪電子
統領電子
聯達科技
光健股
順仁電子科技
全景軟體
原像科技

3H410

アナログ・
デバイスズ

3H409

CRI・ミドルウェア

3H408

中日本高速道路

3H407

LegalOn Technologies

3H406

Wovn Technologies

トヨタテクニカルディベロップメント

3H512

3H511

3H514

3H515

3H516

3H517

3H518

3H519

3H520

3H521

3H522

3H523

3H524

3H525

3H526

3H527

3H528

3H529

3H530

3H531

3H532

3H533

3H534

3H535

3H536

3H537

3H538

3H539

3H540

3H541

3H542

3H543

3H544

3H545

3H546

3H547

3H548

3H549

3H550



HALL 3



HALL 2



やすらぎのモール

GUANGDONG KINGBALI NEW MATERIAL

先進デジタル光学システム・テック

日本アルゴリズム

China Electronic Exhibition & Information Communication

Shenzhen Jinghua Displays Electronic

Dongguan Glory Mark and Asia Link Technology

Shenzhen Grepow Battery

SHENZHEN K-TECH TECHNOLOGY

Nanjing CEC Panda Crystal Technology Corporation

WIZAPPLY

ジョーソンドキュメント

タツタ電線

大倉工業

有人宇宙システム

ザクティ

Guangdong Tuqiang electronic Technology

ソリッドレイ研究所

SHENZHEN GUANGZHIBAO TECHNOLOGY

レフィクシア

RCL DISPLAY

VISUAL SEMICONDUCTOR

DUAL MOVE

コースズテクノロジー

アクティブリテック

2H305

2H304

2H303

2H302

2H301

2H300

2H300

2H300

2H300

2H300

2H300

2H300

2H300

2H300

2H300

2H300

2H300

2H300

2H300

2H300

2H300

2H300

2H300

2H300

2H300



出展者リスト

エリア紹介 ■General Exhibits ■AX パーク ■パートナーズ&グローバルパーク ■ネクストジェネレーションパーク

あ

- 4H001 (株)ARK
 ■6H143 (株)Arts Japan
 ■6H290 (株)アーティエンス・ラボ
 ■6H111 (株)アートチューンズ
 ■4H213 RNA共創コンソーシアム
 ■2H302 RCL DISPLAY LTD.
 ■4H001 (株)アイエスイー
 ■4H004 あいおいニッセイ同和損害保険(株)
 ■3H222 (株)IoTBank
 ■5H018 (株)IoTBank
 ■3H302 (株)アイオーフィット
 ■5H020 iCAD(株)
 ■4H301-01 (株)愛車のある暮らし
 ■4H213 (株)アイスタイル
 ■5H380 (株)アイスマイリー
 ■4H207 aida innovazione
 ■3H412 (株)アイダックス
 ■6H216 ideascaleジャパン(株)
 ■3H412 iPresence(株)
 ■3H411-7 虹彩光電股份有限公司
 ■3H222 (株)OUTSENSE
 ■4H004 (株)AOI Pro.
 ■6H014 Aokumo(株)
 ■4H301-03 Aqara LLC
 ■4H301-04 Aqara LLC
 ■1H207 (株)Acompany
 ■5H018 (株)Acompany
 ■4H301-11 (株)ACCESS
 ■4H301-04 (株)アクセルラボ
 ■2H305 (株)アクティブリテック
 ■6H162 (株)Axcreator
 ■5H020 (株)アサカ理研
 ■3H412 朝日エディック(株)
 ■5H005 アジアクエスト(株)
 ■3H222 (株)a. s. i s t
 ■5H309 agile effect
 ■5H020 アスエネ(株)
 ■3H412 アストロデザイン(株)
 ■3H412 Upside(同)
 ■2H412 (株)Athena Technologies
 ■4H004 (株)Another works
 ■3H410 アナログ・デバイス(株)
 ■6H304 アビームコンサルティング(株)
 ■2H102 (株)アプトボット
 ■2H023 Amaryllo International, Inc.
 ■5H008 Alarm.com
 ■4H301-04 アリオン(株)
 ■3H412 アルケリス(株)
 ■4H301-01 ALSOK(株)
 ■2H016 Ultimems, Inc.
 ■1H314 アルテンジャパン(株)
 ■6H201 (株)アルファドライブ
 ■3H106 (株)アレックス
 ■6H147 (株)アロマジョイン
 ■6H007 アンカーデザイン(株)
 ■5H207 アンリツ(株)
 ■5H210 アンリツ(株)
 ■1H228 英格爾科技股份有限公司
 ■3H412 (株)イイガ
 ■1H232 イーグローバレッジ(株)
 ■6H232 ECCコンピュータ専門学校
 ■4H105 e-Zinc
 ■3H222 (株)イーススポーツギグ
 ■3H222 (株)イートラスト
 ■5H304 NPOイーハート地域情報マネジメント
 ■2H321 YEEBO DISPLAY LTD., TAIWAN BRANCH (H.K.)
 ■4H207 EU パビリオン
 ■6H250 いけりりネットワークサービス(株)
 ■3H304 石川県
 ■4H301-10 イッツ・コミュニケーションズ(株)
 ■4H040 (一財)ITSサービス高度化機構
 ■4H207 Innokrea s.p.a.o.o.
 ■3H110 (株)イワタ
 ■5H020 岩谷産業(株)
 ■5H304 岩手インフォメーション・テクノロジー (株)
 ■5H304 岩手県滝沢市
 ■5H304 (大)岩手県立大学
 ■1H105 inQs(株)
 ■4H004 (株)インサイトテクノロジー
 ■5H011 Industrial Technology Research Institute(ITRI)
 ■4H030 インド パビリオン
 ■4H030 インドPHD商工会議所
 ■3H208 インフィニテグラ(株)
 ■6H214 (株)インプレス
 ■1H321 (株)インプレス
 ■3H412 (株)VRデザイン研究所
- 6H013 (株)WeGlobal
 ■6H228 VMFi Inc.
 ■6H161 ViXion(株)
 ■2H308 WIZAPPLY(株)
 ■2H010 Willque (HK) Development Ltd.
 ■3H412 ウィングロボティクス(株)
 ■2H211 Wei Ken Electrical And Circuit Ltd.
 ■6H290 WellMent(株)
 ■3H406 Wovn Technologies(株)
 ■4H030 ウクライナ パビリオン
 ■4H030 ウクライナIT協会
 ■4H030 ウクライナ IT パビリオン
 ■4H030 ウズベキスタン
 ■4H030 ウズベキスタンITパーク
 ■3H222 (株)woodinfo
 ■5H018 (株)unerry
 ■1H233 (株)A
 ■6H165 HDMedi
 ■6H133 (株)A1Growth
 ■2H406 Aicom Co., Ltd.
 ■2H420 (株)AI Samurai
 ■6H111 ANAホールディングス(株)
 ■6H016 (株)エービーコミュニケーションズ
 ■3H411-6 統領電子股份有限公司
 ■4H001 ALAN コンソーシアム
 ■6H005 (株)エキュメノポリス
 ■3H411-12 耀騰股份有限公司
 ■4H301-09 (一社)エコーネットコンソーシアム
 ■3H506 EKO METAL INDUSTRIES SDN BHD
 ■3H411-17 原像科技有限公司
 ■3H218 シシナジーテクノロジー (株)
 ■3H411-8 立昌先進科技股份有限公司
 ■5H020 SMC(株)
 ■3H605 (有)エスクラフト
 ■6H153 (株)エスケーフアイン
 ■4H020 SCSK(株)
 ■5H018 ESRIジャパン(株)
 ■4H301-13 (株)エディオン
 ■6H226 (株)EnergyColoring
 ■4H301-01 (株)NTTExCパートナー
 ■6H022 NR-Power Lab
 ■5H207 NEC
 ■6H310 NEC
 ■2H411 NECパーソナルコンピュータ(株)
 ■1H120 NECプラットフォームズ(株)
 ■4H301-04 NECプラットフォームズ(株)
 ■2H320 (一財)NHK財団
 ■4H301-04 NXPジャパン(株)
 ■4H301-06 NHK放送技術研究所
 ■5H207 NTT(株)
 ■1H007 (株)NTTドコモ
 ■4H004 NTT東日本(株)
 ■6H112 EverEx(株)
 ■3H401 F P T ジャパンホールディングス(株)
 ■2H123 (株)FYF
 ■3H002 (株)エム二
 ■5H020 MUアイオニックソリューションズ(株)
 ■3H412 (株)Area Japan
 ■3H604 ERICS CO LTD
 ■6H019 エルアップシステム(株)
 ■5H018 (一社)LBMA Japan
 ■4H030 ELEKS Japan
 ■4H105 Enghouse Networks Limited
 ■5H207 大井電気(株)
 ■2H310 大倉工業(株)
 ■6H004 大阪産業大学
 ■5H020 (株)大阪ソーダ
 ■4H004 大阪府/大阪市
 ■5H020 オオノ開発(株)
 ■3H222 O P I (株)
 ■3H205 (株)オーブントーン
 ■1H120 沖電気工業(株)
 ■4H020 (一財)沖縄ITイノベーション戦略センター
 ■4H020 沖縄リゾートワーケーション推進協議会
 ■4H001 おさかなだお長崎(DAO)
 ■2H111 (株)オスティアリーズ
 ■6H251 ONIXION
 ■2H405 (株)オブテージ
 ■6H208 (株)オブトル
 ■3H204 (株)オルガノサーキット
 ■5H020 ALTNA(株)
- 4H105 カナダ・オンタリオ パビリオン
 ■6H170 カナデピア(株)
 ■2H102 CalTa(株)
 ■5H018 川崎重工業(株)
 ■1H102 かわさき新産業創造センター (K B I C)
 ■2H008 (株)川村インターナショナル
 ■3H205 観光予報プラットフォーム推進協議会
 ■6H112 韓国中小ベンチャー企業振興公団
 ■6H116 関西イノベーションイニシアティブ(KSII)/
 (公財)都市活力研究所
 ■6H256 関西大学 環境都市工学 ネットワーク工学研究室
 ■5H020 関東電化工業(株)
 ■2H410 Guangdong Tuqiang electronic Technology Co., LTD
 ■4H204 キオクシア(株)
 ■3H501 (一社)企業間情報連携推進コンソーシアム EXCHAIN
 ■5H018 技研商事インターナショナル(株)
 ■1H316 機甲宇宙(上海)智能科技有限公司
 ■5H020 キンダ化学(株)
 ■2H029 (株)技術評論社
 ■1H322 Gichoビジネスコミュニケーションズ(株)
 ■2H210 キャディ (株)
 ■2H102 (株)キャドセンター
 ■5H018 (株)キャドセンター
 ■3H303 GUANGDONG KINGBALI NEW MATERIAL CO.,LTD
 ■2H016 (株)QDレーザ
 ■3H101 (株)CURIO SCHOOL
 ■2H407 ギリア(株)
 ■4H213 キリンホールディングス(株)
 ■3H411-16 志豊電子股份有限公司
 ■2H115 Quectel Wireless Solutions
 ■3H219 Goochain Technology Co.,Ltd.
 ■3H603 Coolish Music(株)
 ■3H104 (株)Quark
 ■6H207 (株)Qualiteg
 ■5H020 (株)クボタ
 ■4H004 熊本県
 ■4H301 暮らしのDX/パビリオン
 ■6H141 Graffiti(株)
 ■6H144 GREEN OFFSHORE(株)
 ■5H303 (一社)CREATION DRIVE
 ■1H209 (株)クリエイティブ・ヴィジョン
 ■2H421 Crystals Technology Ltd.
 ■6H290 (株)GRIPS
 ■4H207 GREI
 ■6H248 CREST ZT-IoT
 ■5H020 (株)クレハ
 ■1H303 群馬県沼田市
 ■6H120 慶應義塾大学 ハブティクス研究センター
 ■4H004 経済産業省
 ■4H301-07 経済産業省
 ■2H005 (株)ケーアンドケー
 ■4H301-04 X-HEMISTRY(株)
 ■4H220 (国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
 ■4H004 (株)コア
 ■6H212 (学)工学院大学
 ■2H418 (一財)工業所有権協力センター
 ■5H020 (株)構造計画研究所
 ■6H008 高弾性なweb3デジタルツインプロジェクト
 (株)ガイアックス)
 ■4H001 (合)ニート
 ■5H391 KOA(株)
 ■3H222 (株)ゴードルブロック
 ■3H011 コーデンシ(株)
 ■5H013 Code Metal, Inc.
 ■3H201 コーンズテクノロジー (株)
 ■5H018 国際航業(株)
 ■4H004 国土交通省
 ■4H040 国土交通省 道路局
 ■4H001 国土交通省 総合政策局 海洋政策課
 ■5H004 コグニティ (株)
 ■1H216 (株)Cognitech.DEV
 ■6H248 国立情報学研究所/京都大学/
 情報セキュリティ大学院大学/
 東京情報デザイン専門職大学「CREST ZT-IoT」
 ■6H131 コシニアス(株)
 ■3H206 (株)コシブ精密
 ■5H020 小島プレス工業(株)
 ■3H412 (株)コスモ計器
 ■2H103 (株)コスモサウンド
 ■6H238 Kotozna(株)
 ■2H021 湖南飛優特電子科技有限公司
 ■4H301-04 Connectivity Standards Alliance日本支部
 ■5H020 (株)コベルコ科研
 ■5H020 コマツNTC(株)
 ■4H301-04 コムスコープ
 ■4H207 Collab
 ■3H411-10 功得電子工業股份有限公司
 ■3H412 (株)今野製作所

か

- 4H207 Gaia-X
 ■4H001 海洋デジタル社会パビリオン
 ■4H213 花王(株)
 ■3H217 (国)金沢大学
 ■4H105 カナダ・オンタリオ州政府

さ

■4H301-01 サイエンス(株)
■6H113 サイオニックAI(株)
■1H210 埼玉大学 辻研究室
■4H030 在日ウクライナ商工会議所(UCCJ)
■4H301-04 サイバートラスト(株)
■6H017 (株)CyberneX
■4H004 (株)サカイ引越センター
■2H306 (株)ザクティ
■5H304 (株)サステナ
■5H018 (株)サトー
■5H207 (株)三球電機製作所
■1H325 (国研)産業技術総合研究所
■4H110 (国研)産業技術総合研究所
■4H110 産業技術総合研究所HCMICONSORSIUM
■2H028 (株)産業タイムズ社
■4H204 サンケン電気(株)
■2H001 Sansan(株)
■1H103 (株)サンブランソフト
■3H214 三洋化成工業(株)
■2H026 (株)346
■6H290 (株)シー・ヴィ・リサーチ
■3H409 (株)C R I・ミドルウェア
■1H120 CIAJユーザネットワークシステム委員会
■1H120 CIAJ & HATSフォーラム
■5H207 CIAJオール光ネットワークバビリオン
■1H120 CIAJ画像情報ファクシミリ委員会
■1H120 CIAJ通信品質委員会
■5H020 (株)GSユアサ
■3H515 (株)シーエヌエー
■2H018 (株)CMF Design Lab
■5H020 CKD(株)
■6H206 GC-PF(株)
■3H411-9 島連科技股份有限公司
■6H002 (株)JiMED
■6H246 G-LYTE
■4H301-04 SEALSQ
■5H020 JX金属(株)
■5H020 JFEエンジニアリング(株)
■4H301-07 JC-STAR制度(IPA・経済産業省)
■4H301-07 JEITA スマートホーム部会
■4H301-08 JEITA スマートホーム部会
■4H204 JEITA半導体フォーラム2025
■4H204 JEITA 半導体部会
■4H301-02 JEITA ヘルスケアインダストリー部会
■3H205 (株)JTB
■4H310 (株)JTB
■5H020 (株)ジェイテクト
■1H224 J P 東京・アンド・カンパニー (株)
■1H301 (株)J V Cケンウッド
■6H111 GenX(株)
■2H108 ジオテクノロジーズ(株)
■5H018 ジオテクノロジーズ(株)
■4H207 Cicada Technologies
■6H003 (株)ジサイエ
■2H209 シチズン千葉精密(株)
■2H209 シチズン電子(株)
■2H209 シチズンファインデバイス(株)
■4H004 (株)ジチタイワークス/(株)地方創生テクノロジーラボ
■5H020 (一財)自動車・蓄電池トレーサビリティ推進センター
■2H415 Sinumy(株)
■5H020 芝浦機械(株)
■5H020 (株)島津製作所
■3H223 シャープ(株)
■3H103 ジャイナルサービス(株)
■3H102 (株)ジャイロ
■2H202 (株)ジャパンディスプレイ
■6H111 (株)ジャパンディスプレイ
■5H020 ジャパンマシナリー (株)
■2H414 JiangXi GuiDe Technology Co. Ltd.
■4H030 Shants
■1H234 上海晶英電子科技有限公司
■2H205 Shanghai Distributed Artificial Intelligence Scholar Technology Co., Ltd.
■6H203 集積コムによる通信コンソーシアム
■3H508 住宅デバイス共創機構
■4H301-12 (一社)重要生活機器連携セキュリティ協議会
■1H319 紹興欧柏斯光电科技有限公司
■5H316 湘南工科大学
■6H163 情報科学専門学校
■3H607 (一社)情報処理学会
■4H301-07 (独)情報処理推進機構
■5H101 (独)情報処理推進機構
■5H102 情報処理推進機構
(地域DX推進ラボ/地方版IoT推進ラボ)
■4H301-12 情報セキュリティ大学院大学
■1H120 (一社)情報通信技術委員会(TTC)
■1H008 (国研)情報通信研究機構(NICT)
■1H009 (国研)情報通信研究機構(NICT)
■1H120 (一社)情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)
■5H207 (一社)情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)

■6H222 (学)情報文化学園アーツカレッジヨコハマ
■4H035 ジョーシス(株)
■2H308 (株)ジョーソンドキュメンツ
■3H205 ジョルダン(株)
■4H301-04 シリコン・ラボ
■6H236 (株)CINCA
■2H303 SHENZHEN GUANGZHIBAO TECHNOLOGY CO., LTD.
■2H324 Shenzhen Grepow Battery Co., Ltd.
■2H312-6 SHENZHEN K-TECH TECHNOLOGY CO.,LTD
■2H312-1 Shenzhen Jinghua Displays Electronics Co., Ltd.
■2H125 Shenzhen Unique Scales Co., Ltd
■5H020 (株)陣内工業所
■4H301-04 SWITCHBOT(株)
■3H411-11 竣豪電子股份有限公司
■5H301 スギノエイチ(株)
■4H207 Scriptide
■6H132 SuhyunTech Co., Ltd.
■5H020 (株)鈴木
■6H159 (株)studio boka
■2H413 (株)スタッフ
■6H114 (株)STEALIE
■6H149 (株)Stayway
■1H317 ストックマーク(株)
■4H207 Sparsity Technologies
■2H324 Speeda
■5H201 Speeda
■6H111 (株)SpaciaNet Japan
■4H004 (一社)スマートシティ社会実装コンソーシアム
■3H204 (一社)スマートフィルムデバイス協会
■3H217 住友金属鉱山(株)
■5H020 住友金属鉱山(株)
■2H208 住友ベークライト(株)
■5H020 住友理工(株)
■6H166 (株)スムーゼースタジオ
■6H157 (株)スリーディー
■3H411-15 順仁電子科技股份有限公司
■5H020 (株)西部技研
■6H009 (株)セカフィー
■4H301-12 積水ハウス(株)
■4H020 セキュアインバージョン(株)
■2H102 セジウム(株)
■3H222 (株)ゼタント
■6H202 zeteoh(株)
■4H004 (株)ゼネラルリンク
■3H507 (株)ゼミテック
■1H102 (株)Zrek
■6H234 (株)Zero To One Lab
■6H148 (株)ゼロワン
■6H111 (株)ゼロワンブースター
■6H111 (株)ゼロワンブースターキャピタル
■3H215 Zenken(株)
■2H226 全国電子部品流通連合会
■4H004 仙台市
(学)先端教育機構
■3H222 (株)センチュリーアークス
■5H002 (株)センテリオンシステム
■5H020 セントラル硝子(株)
■5H018 (株)ゼンリン
■5H018 (株)ゼンリンデータコム
■6H230 総合学園ヒューマンアカデミー ITカレッジ
■4H004 総務省
■5H207 総務省
■3H006 創屋(株)
■3H204 (株)SOEL
■3H222 ソナス(株)
■3H412 ソナス(株)
■6H303 ソニーグループ(株)
■4H204 ソニーセミコンダクタソリューションズ(株)
■5H018 ソフトバンク(株)
■4H105 Solace Systems Inc.
■1H102 (株)SolaNika
■2H307 (株)ソリッドレイ研究所
■3H222 ソルビファイ(株)
■4H115 損害保険ジャパン(株)
■5H020 SOMPO Light Vortex(株)

た

■6H105 第一三共ヘルスケア(株)
■5H020 (株)大気社
■4H004 ダイナミックマッププラットフォーム(株)
■1H121 太陽誘電(株)
■3H411-3 Taiwan Electrical and Electronic Manufacturers' Association
■5H020 タキゲン製造(株)
■5H304 滝沢ロボティクス(合)
■5H018 (株)竹中工務店
■3H222 多田プラスチック工業(株)
■2H309 タツタ電線(株)
■5H322 TouchStar
■5H020 (株)タナベ
■5H313 玉川大学
■3H207 TeamViewerジャパン(株)
■3H411-13 全景軟體股份有限公司

■6H290 千葉県
■3H513 千葉県警察
■6H210 千葉工業大学
■4H004 地方創生2.0特設バビリオン
■2H312 China Electronic Exhibition & Information Communication Co., Ltd.
■1H306 China Kun-Shan Pavilion
■6H138 中央情報大学
■6H244 中京大学コンピュータビジョン研究室
■6H255 中部大学 常川研究室
■5H324 TWOFOUR DESIGN WORKS(同)
■5H020 月島機械(株)
■4H004 つくば市
■6H290 (株)ツバサ・フロンティア
■6H138 DXデザイン研究所
■3H411-5 高柏科技股份有限公司
■2H323 DKE Holding Co.,Ltd
■5H003 (株)ティーソー・ラボラトリ
■6H180 TDK(株)
■4H207 Dlaboratory Sweden AB
■5H006 Tigris Systems
■6H111 (株)Diphylla
■5H018 (株)データインサイト
■5H007 (株)Techtical
■2H104 (株)テクノコア
■4H040 デジタル交通社会バビリオン
■4H004 デジタル庁
■4H004 デジタル庁地域幸福度(Well-Being)指標事務局
■5H370 テックタッチ(株)
■5H304 Defios(株)
■3H202 (株)DUAL MOVE
■4H301-04 テュフラインランド ジャパン(株)
■2H126 (株)テラモト
■1H119 (株)デルタツォーリング
■1H006 デルタ電子(株)
■3H222 (株)電子技販
■5H020 (株)デンソー
■5H020 (一社)電池サプライチェーン協議会
■1H223 Dentsu Lab Tokyo
■2H101 (一社)電波産業会
■6H006 東海大学 小坂研究室
■4H040 東京科学大学 阪口研究室
■5H325 東京工科大学
■6H135 東京高専・水戸研究室/
仙台高専広瀬キャンパス・小林研究室/泰興物産
■3H502 東京情報大学
■5H020 (株)東京精密
■6H224 東京大学/慶應義塾大学/静岡大学(D3-AIプロジェクト)
■6H223 東京電機大学 協調ロボティクス研究室
■4H301-01 東京電力エナジーパートナー (株)
■1H105 東京都スタートアップ戦略推進本部
■3H222 東京都中小企業振興公社
(東京ビジネスフロンティア)
■1H208 東京都デジタルサービス局
■3H412 (地独)東京都立産業技術研究センター
■6H219 東京農工大学 中山研究室
■6H137 東京理科大学河原研究室
■3H005 東京レーダー (株)
■4H204 東芝デバイス&ストレージ(株)
■5H020 (株)東伸
■2H118 東ブレ(株)
■1H228 トキトラディング(株)
■4H210 戸田建設(株)
■5H020 (株)dotD
■4H301-04 TOPPANデジタル(株)
■6H146 TopoLogic(株)
■2H317 (株)とめ研究所
■3H304 富山県
■3H504 トヨタ自動車(株) 熱流センサ「Energy flow」
■5H020 豊田通商(株)
■3H512 トヨタケミカルディベロップメント(株)
■5H020 トヨタバッテリー (株)
■5H020 豊通マテリアル(株)
■1H312 (株)トランスAI
■1H229 TRANSTOUCH TECHNOLOGY INC. (tti)
■4H207 Druid Software Limited
■3H216 Trenser Technology Solutions Pvt LTD.
■2H312-2 Dongguan Glory Mark and Asia Link Technology Co.,Ltd.

な

■4H004 内閣官房 新しい地方経済・生活環境創生本部事務局
■5H390 内閣府宇宙開発戦略推進事務局/
準天頂衛星システムサービス(株)
■4H004 内閣府 地方創生推進事務局
■4H004 長崎県
■4H001 ながさきBLUEエコノミー (長崎大学)
■3H307 長瀬産業(株)
■3H408 中日本高速道路(株)
■6H243 名古屋大学「AIP加速課題：発声技能拡張PJ」
■6H117 (株)ナノスパイク
■3H601 ナブラワークス(株)
■2H312-8 Nanjing CEC Panda Crystal Technology Corporation
■3H109 新潟市

■5H321 (株) ニーズエクスプローラ
■3H222 Nishika (株)
■1H216 ニシコム (株)
■5H020 日亜化学工業 (株)
■4H207 日欧産業協力センター
■4H207 日欧産業協力センター (Horizon Europe)
■2H419 日昌電気制御 (株)
■5H020 日伸工業 (株)
■4H110 日鉄ソリューションズ (株)
■2H203 (株) ニッポー
■2H318 日本アルゴリズム (株)
■6H022 日本ガイシ (株)
■5H020 日本化学産業 (株)
■3H205 (公社) 日本観光振興協会
■5H020 (株) 日本技術センター
■6H018 (国研) 日本原子力研究開発機構
■5H325 日本工学院 ITカレッジ
■5H207 日本航空電子工業 (株)
■6H290 (株) 日本省力技術研究所
■5H020 (株) 日本触媒
■4H001 (一社) 日本水中ドローン協会
■5H020 日本精工 (株)
■6H220 日本大学
■1H215 日本電波 (株)
■5H020 日本リサイクルセンター (株)
■4H004 (株) 日本旅行/(株) トータルブレインケア
■1H102 newmo (株)
■4H204 ナヴォン テクノロジージャパン (株)
■4H207 NUTAI
■4H301-04 (株) ネクスティ エレクトロニクス
■5H018 (株) ネクスティ エレクトロニクス
■2H005 (株) ネクステッジテクノロジー
■4H035 ノバセル (株)
■4H301-04 ノルディック・セミコンダクター (株)
■6H127 ノルディック・セミコンダクター (株)

は

■3H204 バイクリスタル (株)
■2H406 Bicom Inc.
■4H030 Howcow
■5H020 (株) パウレック
■6H118 (株) HAKATTE
■5H020 萩原工業 (株)
■4H301-12 (株) 博報堂
■3H205 パシフィックコンサルタンツ (株)
■5H018 はつかぜ (株)
■1H120 HATS フォーラム
■1H227 (公財) 発明協会 / (一社) 発明推進協会
■6H020 Patentfield (株)
■5H020 パナソニックエナジー (株)
■2H122 浜井電球工業 (株)
■3H222 (株) palan
■4H030 Variphi Gen Innovation Private Limited
■3H010 VALUENEX (株)
■2H011 Valerion
■3H412 Haloworld (株)
■3H107 (株) PowerManagement
■6H154 Hundredths (株)
■3H602 BHW Technologies Ltd.
■5H020 BASF 戸田バッテリーマテリアルズ (合)
■6H123 (株) PFU
■4H105 BL Innovare
■5H304 (株) びーぶる
■3H514 (株) Pioneer
■4H004 東日本旅客鉄道 (株)
■3H211 先進デジタル光学システム・テック
■3H222 (株) P i c t o C a r e
■2H024 (株) ビザスク
■2H301 VISUAL SEMICONDUCTOR, INC.
■6H015 BizTech (株)
■1H120 (株) 日立情報通信エンジニアリング
■5H220 (株) 日立製作所
■5H020 (株) 日立ハイテク
■4H004 (株) 日立ハイテクネクサス
■5H020 (株) 日立プラントサービス
■3H411-2 萬達光電科技股份有限公司
■6H119 (株) PITTAN
■3H411-14 光鍵股份有限公司
■5H018 日野コンピューターシステム (株)
■4H001 ビフレステック (株)
■5H020 ヒューグルエレクトロニクス (株)
■3H222 (株) ヒュージョン
■3H503 PhyDB
■4H301-01 ファイテン (株)
■6H252 (株) Final Aim
■2H201 ファインディ (株)
■4H207 FACIL' iti Japon K.K.
■3H213 (株) VRC
■3H608 (同) fuiigo
■6H115 (株) VCAT AI
■2H119 (一財) VCCI 協会
■4H020 (株) vvland

■5H014 Fairy Devices (株)
■3H209 (株) フェリクロス
■3H412 (株) FOVE
■3H301 (株) フォーラムエイト
■3H007 フォスター電機 (株)
■3H001 フォルシア (株)
■3H412 (株) フォレストシー
■3H304 福井県
■4H004 福井市
■5H020 福井鋸螺 (株)
■4H004 ふくいMaaS協議会/ふくいのデジタル
■2H114 福岡市
■2H114 FUKUOKA Smart EAST 推進コンソーシアム
■4H004 福島県
■4H301-02 フクダ電子 (株)
■3H212 (株) フジクラ
■4H001 富士通 (株)
■2H129 富士通 (株)
■5H304 (株) 復建技術コンサルタント
■6H150 (株) フツパー
■1H302 (株) フューチャースタンド
■6H139 Future 3D Group Inc
■6H218 (株) Flyby
■5H018 (株) ブライバシーテック
■6H290 (株) ブライムセンス
■5H020 プライムプラネットエナジー & ソリューションズ (株)
■5H203 PLAUD (株)
■5H205 (株) Preferred Networks
■6H240 (株) BLUEISH
■4H105 BluWave-AI
■3H412 (株) FLARE SYSTEMS
■5H009 Flowtica AI PTE. LTD.
■3H205 (株) ブログウォッチャー
■5H018 (株) ブログウォッチャー
■4H105 Basetwo Artificial Intelligence Inc.
■3H509 HELATH (株)
■1H105 (株) HelioX
■4H301-01 ホクシンハウス (株)
■3H304 北陸経済 (連)
■3H304 北陸地域企業誘致連絡会
■3H305 北陸電気工業 (株)
■3H304 北陸電力 (株)
■2H401 bossjob
■6H151 (株) Bocek
■2H319 北海道石狩市
■4H001 北海道大学水産学部
■6H155 POLYMERIZE (同)
■4H313 HORTUS DIGITAL
■6H127 WhiteLab (株)
■3H003 香港貿易発展局
■5H302 BONSAI STUDIO (株)
■4H301-02 本田技研工業 (株)
■4H105 Pontosense Inc.

ま

■4H204 マイクロンメモリ ジャパン (株)
■6H021 MYSURANCE (株)
■3H221 (株) マウビック
■5H018 マカグア (株)
■3H412 (株) マグナ・ワイヤレス
■3H412 (株) MAZIN
■4H105 Masterly AI
■4H301-12 (株) マストトップ
■5H020 松田産業 (株)
■2H204 (株) 松田電機工業所
■4H004 (株) Matchbox Technologies
■2H102 (株) マップフォー
■5H018 マップボックス・ジャパン (同)
■5H018 (株) マップル
■5H018 マルティスープ (株)
■5H207 丸文 (株)
■3H203 三重電子 (株)
■2H124 (株) MIXI
■4H313 Mikrotikls
■3H222 (株) MizLinx
■5H020 三井物産 (株)
■6H247 ミットディア (株)
■3H008 三菱ガス化学ネクスト (株)
■5H020 三菱ケミカル (株)
■4H110 三菱電機 (株)
■4H204 三菱電機 (株)
■4H050 三菱電機グループ
■5H020 三菱マテリアル (株)
■5H020 水戸工業 (株)
■3H210 (株) ミューシグナル
■2H128 ミライト・ワン グループ
■2H005 MIRAI BAR (株)
■4H301-04 美和ロック (株)
■4H301-04 mui Lab (株)
■4H301-05 mui Lab (株)
■2H110 無錫藍沛新材料科技股份有限公司
■2H325 (株) 村田製作所

■4H210 (株) 村田製作所
■6H129 (株) 明治
■5H018 MetCom (株)
■2H422 (株) メルシー
■6H120 モーションリブ (株)
■2H102 モードインク
■3H502 (株) モノテクノス
■3H111 (株) 森創
■5H020 森田化学工業 (株)
■3H412 (株) モルフォ

や

■5H018 矢崎総業 (株)
■1H231 亜世光電(グループ)股份有限公司
■5H020 (株) 安川電機
■6H011 山形大学 INOEL フレキシブルエレクトロニクス部門
■6H010 山形大学 INOEL 有機・次世代太陽電池部門
■6H012 山形大学 有機エレクトロニクスイノベーション
センター 高密度薄膜デバイス部門
■4H301-01 (株) ヤマダデンキ/(株) ヤマダホームズ
■5H020 ヤマハ発動機 (株)
■2H311 有人宇宙システム (株)
■6H111 (株) ユーリカ・ワイヤレス
■2H212 ユカイ工学 (株)
■6H201 (株) ユニッジ
■4H207 European DIGITAL SME Alliance
■3H308 (株) ヨコオ
■6H254 横浜国立大学
■6H290 (株) 吉野機械製作所
■5H020 淀川ヒューテック (株)

ら

■4H301-01 ライフエレメンツ (株)
■6H162 Lifeband (株)
■4H313 Lailio Solutions
■3H411-4 台湾艾華電子工業股份有限公司
■4H035 ラクスル (株)
■4H004 (株) ラック
■4H313 Latvijas Mobilais Telefons
■4H313 ラトビア パビリオン
■4H313 ラトビア投資開発公社 (LIAA)
■2H408 リアルテック・セミコンダクター・ジャパン (株)
■4H301-04 リアルテック・セミコンダクター・ジャパン (株)
■3H407 (株) LegalOn Technologies
■1H101 (株) Leaner Technologies
■5H016 (国研) 理化学研究所 計算科学研究センター
■4H201 (株) LIXIL
■4H301-01 (株) LIXIL
■2H027 リケン N P R (株)
■5H020 (株) リコー
■6H022 (株) リコー
■5H319 リサーチコーディネート (株)
■4H020 ResorTech EXPO 2025 in Okinawa
■6H242 立命館大学/新潟大学
■4H105 River Birch Global Water
■4H301-01 (株) リビングロボット
■3H412 リプト (株)
■5H010 Rebuff Reality
■2H102 (株) Liberaware
■4H301-12 (大) 琉球大学
■4H001 琉球大学 (BLUE & GREEN REVOLUTION)
■1H318 リンナイ (株)
■3H412 ルーチェサーチ (株)
■1H105 LOOVIC (株)
■4H204 ルネサス エレクトロニクス (株)
■2H213 Lulurose
■3H306 RainScales Japan (株)
■3H411-1 聯宇電子股份有限公司
■5H309 レバテック (株)
■2H304 レフィクシア (株)
■6H142 (株) LensLink
■4H204 ローム (株)
■6H001 LocationMind (株)
■4H207 Logicdev GmbH
■6H290 ロック技研工業 (株)
■5H311 lotsful (パーソルイノベーション (株))
■6H204 ロボセンサー技研 (株)

わ

■6H290 (株) ワークロボティクス
■3H511 (株) Y S L ソリューション
■5H207 1 Finity (株)

イベント

オープニングレセプション/CEATEC AWARD授与式

開催初日の10月14日(火) 18:30~20:30、パレスホテル東京(2階・葵の間)にてオープニングレセプションを開催しました。石破茂内閣総理大臣からのビデオメッセージが上映され、平将明デジタル大臣をはじめとする来賓および出展者幹部など総勢700名の皆様にご出席いただきました。オープニングレセプションでは、総務大臣賞、経済産業大臣賞、デジタル大臣賞の授与式を実施し、産官学のリーダーが一堂に会するCEATECの開幕を華やかに飾りました。(※役職はいずれも当時のもの)

日時 10月14日(火) 18:30-20:30

場所 パレスホテル東京 2階葵の間

■式次第(それぞれ役職は当時のもの)

- ・主催者挨拶 一般社団法人電子情報技術産業協会 会長 漆間 啓
- ・石破 茂 内閣総理大臣 ビデオメッセージ
- ・平 将明 デジタル大臣 ご祝辞および CEATEC AWARD デジタル大臣賞授与式
- ・古賀 友一郎 経済産業副大臣 ご祝辞および CEATEC AWARD 経済産業大臣賞授与式
- ・川崎 ひでと 総務大臣政務官 ご祝辞および CEATEC AWARD 総務大臣賞授与式
- ・東原敏昭 一般社団法人日本経済団体連合会 審議会副議長 ご祝辞および乾杯



出展者ネットワーキングイベント

10月15日(水)の一般公開終了後、展示会場内AXステージにて出展者ネットワーキングイベントを開催しました。約200名(110社/団体)の出展者が参加し、出展者同士の交流と情報交換の場として盛況のうちに終了しました。当イベントでは、CEATEC AWARD部門賞およびエコ&デザインチャレンジの表彰を実施し、展示会全体の成果共有とネットワーキングを促進しました。

日時 10月15日(水) 18:00-19:00

場所 展示会場内 AXステージ

■プログラム

- ・CEATEC AWARD 2025 部門賞表彰
- ・エコ&デザインチャレンジ表彰 等



CEATEC for Students

CEATEC では、次世代を担う人材の育成と産業理解の促進を目的として、学生の来場促進を行っています。展示会場では、学生の皆さまに最新技術や業界動向を直接体感していただくことで、将来の進路選択やキャリア形成に役立てていただくことを目指しています。

出展者の皆さまには、学生が積極的にブースを訪問できるよう、学生向け資料の設置や、わかりやすい説明を行うスタッフの配置などの対応をお願いしました。また、学生対応に積極的な出展者を対象に「学生フレンドリーロゴ」データを提供し、ブース内での掲出を推奨するなど、学生との対話を促進する環境づくりを進めました。さらに、学生対応を行う出展者情報を事前に公式ウェブサイトや会場内サインで案内することで、教育機関や学生が興味や関心に応じて効率的に見学できる仕組みを整備しました。

その結果、95の出展者が本制度に登録し、全国から8,000名を超える学生の来場がありました。出展者による学生対応は、学生の学びやキャリア形成の一助となるとともに、産学連携や未来の人材交流を促進する取り組みとして高く評価されました。



コンファレンス

Conference 10/14

CEATEC オープニングセッション

10:00 - 11:45

HB-11

コンベンションホールB

オープニングセレモニー&オープニングセッション① 『AI エージェント産業革命と日本のポテンシャル』

オープニングセレモニー



一般社団法人 電子情報技術産業協会
代表理事 会長

漆間 啓 氏

パネルディスカッション



Gen-AX 株式会社
代表取締役社長 CEO

砂金 信一郎 氏



Uber AI Solutions
Japan Commercial Head

Aya Zook 氏



株式会社サラマンダー
CEO

櫻井 大樹 氏



株式会社ウルフ
執行役員

田中 正宏 氏

13:00 - 14:30

HB-14

コンベンションホールB

オープニングセッション② 『サステナブルな社会の実現に向けて』



本田技研工業株式会社
取締役 代表執行役社長

三部 敏宏 氏



newmo 株式会社
COO 兼共同創業者

野地 春菜 氏



三菱電機株式会社
代表執行役 執行役社長 CEO

漆間 啓 氏



株式会社ファームステーション
代表取締役

酒井 里奈 氏



エレファンテック株式会社
代表取締役社長

清水 信哉 氏



日経 CNBC
キャスター

佐久間 あすか 氏

15:00 - 16:30

HB-16

コンベンションホールB

オープニングセッション③ 『地方創生 2.0 強い経済、豊かな生活環境、新しい日本・楽しい日本』

基調講演



内閣官房
新しい地方経済・生活環境創生
本部 事務局長

海老原 諭 氏



デジタル庁
国民向けサービスグループ 次長
／審議官

岡田 智裕 氏

パネルディスカッション



総務省
大臣官房地域力創造審議官

恩田 馨 氏



学校法人先端教育機構 事業構
想大学院大学 学長・教授

田中 里沙 氏



経済産業省
経済産業政策局 地方創生担当
政策統括調整官

宮本 岩男 氏



内閣官房
新しい地方経済・生活環境創生
本部事務局審議官

岸田 里佳子 氏



国土交通省
大臣官房審議官(総合政策)

笠尾 卓朗 氏

10:30 - 11:30

HA-11

コンベンションホールA

モビリティ産業の未来を拓く DX 戦略と SDV による変革・新たな体験価値



経済産業省
製造産業局 自動車課
モビリティ DX 室長

黒鉄 誠 氏



株式会社CRUI・ミドルウェア
モビリティ事業本部
開発部 部長

近藤 文仁 氏



トヨタ自動車株式会社
デジタルソフト開発センター
Fellow

村田 賢一 氏



アビームコンサルティング株式会社
未来価値創造 戦略ユニット
マネージャー

関根 直輝 氏

12:00 - 13:00

HA-13

コンベンションホールA

『DX が導く地方創生 2.0 ～先進事例に学ぶ』



デジタル庁
国民向けサービスグループ長

三浦 明 氏



一般社団法人コード・フォー・ジャパン
代表理事
／Japan CDO Community
コアメンバー

関 治之 氏



石川県
副知事 兼 CDO

浅野 大介 氏



株式会社うらら 代表取締役会長
／前 三重県 最高デジタル責任者
／Japan CDO Community
コアメンバー

田中 淳一 氏



沖縄科学技術大学院大学 教授
／株式会社ソニーコンピュータ
サイエンス研究所(ソニー CSL)
代表取締役社長

北野 宏明 氏



Japan CDO Community
代表世話人
／全国地域情報化推進協会
顧問

吉田 真貴子 氏

13:30 - 14:30

HA-14

コンベンションホールA

共創とテクノロジーのハーモニーで「人類と自然の調和」に挑む～カナデビアが描く AI 活用の未来～



カナデビア株式会社
取締役社長 兼 CEO

桑原 道 氏



PwC コンサルティング合同会社
テクノロジー&デジタルコンサルティング事業部
上席執行役員 パートナー

荒井 慎吾 氏



カナデビア株式会社
取締役 兼 常務執行役員
ICT 推進本部長

橋爪 宗信 氏



PwC コンサルティング合同会社
テクノロジー&デジタルコンサルティング事業部
ディレクター

木原 浩 氏

15:00 - 16:30

HA-16

コンベンションホールA

AI 時代のデジタルインフラを支えるオール光ネットワークのミライ



株式会社 日経 BP
日経ビジネス LIVE 編集長

堀越 功 氏



IFINITY 株式会社
フォトノクスシステム 事業本部 本部長

松井 秀樹 氏



総務省
国際戦略局 技術政策課 課長

松井 正幸 氏



ソフトバンク株式会社
次世代社会インフラ推進室 室長

浅沼 邦光 氏



さくらインターネット株式会社
代表取締役社長

田中 邦裕 氏



ソニー株式会社
技術開発研究所 次世代通信技術戦略担当
シニアディレクター・IOWN Global Forum
ユースケース作業班 議長

伊東 克俊 氏

Conference オンライン

公開期間 10/01 13:00 - 10/31 17:00

ON-2 Green x Digitalコンソーシアム
特別コンファレンス環境活動データが切り
拓く新たな企業価値

ON-3 市場展望:
データレスクライアントと競合製品

ON-4 半導体人材シンポジウム
(JEITA半導体フォーラム2025)

ON-5 次世代人材クロストーク

ON-6 HATSフォーラムコンファレンス
2025

ON-7 ウェブアクセシビリティ最前線

ON-8 インクルーシブデザインによるアク
セシビリティ改善

ON-9 AI活用最前線 Part3
“JEITA会員企業DX実践事例”
～JEITA技術戦略部会カンファレンス～

ON-11 サークュラーエコノミーの欧州動向
と事例紹介

ON-12 2035年までの電子部品技術ロードマップ
～Society5.0世界における未来のスマートシ
ティの実現に貢献する電子部品の動向～

ON-13 学生必見! 電子部品業界の紹介

ON-14 ITトレンド調査～デジタル経営を
支えるITプラットフォーム、生成AI・クラウ
ド・グリーンITの最前線～

ON-15 AIが拓く次世代イノベーション
～情報処理学会が提供するセミナーと高度
IT人材資格CITP～

ON-16 欧州デジタルチャンピオン:
ソリューションの実例

ON-17 一瞬で捉える百万の視点:
AIが革新する産業とインフラ / LMT
Innovations社

ON-18 ラトビア発・高信頼ネットワークソ
リューション - MikroTik社が描く次世代
通信の未来 / MikroTik社

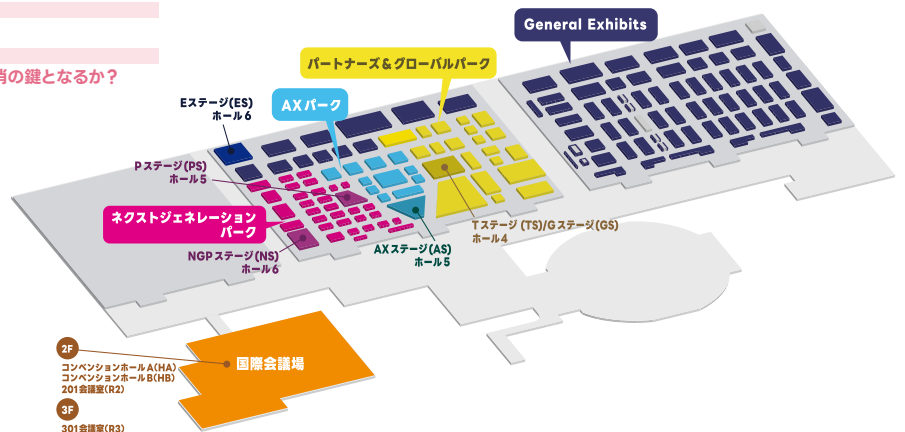
ON-19 Shants株式会社とウクライナ防衛
テック団体Brave1

ON-21 電通BXクリエイティブセンター
R&D&C」紹介ムービー

国際会議場 2F 201 会議室	国際会議場 3F 301 会議室	展示ホール 6 E ステージ	展示ホール 4 T ステージ	展示ホール 5 AX ステージ	展示ホール 6 NGP ステージ
10:30 - 11:30 R2-11 「輝く電子部品業界の強みはなんだ!？」	10:30 - 13:00 R3-11 AI × データスペース社会への挑戦	10:30 - 11:30 ES-11 欧州の先進事例に学ぶ：さらなるデータ利活用のためのデータセキュリティとは	10:30 - 11:10 TS-11 首里城 × DX — 伝統を未来へつなぐ沖縄の挑戦 —	10:30 - 11:30 AS-11 地域 DX 推進ラボが語る — AI 活用と人材育成からみる “DX 支援” のリアル	10:30 - 11:30 NS-11 未来を拓くイノベーターとの対話：第 10 回 JEITA ベンチャー賞ピッチ&トークセッション
12:00 - 13:00 R2-13 Bluetooth の新技術、Auracast™ の力で公共空間の音声体験を変える		12:00 - 13:00 ES-13 大企業の新規事業を成功に導くポイントと新たな人材活用術～現役事業責任者が語る実践知～	11:30 - 12:10 TS-12 社会課題の解決と経済発展の実現に向けた産業データ連携の取り組み～持続可能な社会の実現と未来型のまちづくり～		11:45 - 12:45 NS-12 海外スタートアップが挑む日本のサステナブル市場
13:30 - 14:30 R2-14 生成 AI × 検証技術で実現する、ハードウェアに最適化されたコードの生成	13:30 - 14:30 R3-14 工場のセキュリティ対策策定ガイドラインとツール活用ワークショップ ～工場のセキュリティ対策策定を体験してみませんか?～	13:30 - 14:30 ES-14 準天頂衛星システム「みちびき」が拓く未来と利活用の最前線	13:30 - 14:00 TS-14 架け橋を築く：ウクライナのテッククラスターから日本の産業エコシステムへ	13:00 - 13:30 AS-14 マルチ AI エージェントが導く『データの民主化 2.0』～データサイロを破壊し、AI が自律的に動く世界～	13:00 - 14:00 NS-14 協業が動き始める前に整えるべきこと — 2024 年 協業事例で考える、初動段階の重要論点
15:00 - 16:00 R2-16 人が主役となるものづくりと AI・ロボットの活用	15:00 - 16:00 R3-16 プロフィットセンターの自動化 × 加速 × イノベーション		14:00 - 14:30 TS-15 ウズベキスタン IT 産業の新潮流：日本企業との協業機会	14:00 - 14:30 AS-15 AI で議事録が変わる Plaud AI で始める業務効率化	14:15 - 15:15 NS-15 ディープテック VC が語る 激動の転換期にある大学発 スタートアップとの向き合い方
16:15 - 17:00 R2-17 AI 時代のイノベーションに必要なアイデア発想法とは？ ～人に宿る妄想こそ、人を熱狂させる～			14:40 - 15:10 TS-16 インドの IT ビジネス最前線	15:00 - 15:30 AS-16 AI カメラや見守りにも対応した SaaS プラットフォームのご紹介 (Alarm.com)	15:30 - 17:00 NS-16 Next アントレ 2025 学生ピッチコンテスト
			15:30 - 17:00 TS-17 JC-STAR × 消費者市場：セキュリティを価値に変える仕組みとは	16:00 - 16:30 AS-17 生成 AI × 検証技術で実現する、ハードウェアに最適化されたコードの生成	

展示ホール 5 P ステージ
PS-12 生成 AI による特許調査・分析の次世代化！ Patentfield のご紹介
PS-141 日本初の植込BCI医療機器開発への挑戦
PS-142 JAEA で開発されたデジタル技術の紹介
PS-143 パケットキャプチャはいけりへ
PS-144 テレビ局 × スタートアップが挑む、新規事業 創出支援サービス [Edge]
PS-151 目に見えない微細な変化を“常時・さりげなく”捉えるシート型多機能センサを活用してくらしとまちを最適化、スマートで持続的なまちづくりに貢献する
PS-152 属人化を解消する光学設計アシスタント
PS-153 デザイン領域での生成 AI 活用の進展と知財リスクについて

PS-154 世界最小アンテナによる EV の走行中給電とマーカ式自動運転
PS-16 VMFi Inc.
PS-161 ロボットは人手不足解消の鍵となるか？



10:00 - 12:00 HB-21 コンベンションホールB

Society5.0 実装のフロンティア —データと AI で未来を拓く— 第一部：デジタル・エコシステムで創る社会・産業新世紀 第二部：デジタル・エコシステムの実現に向けて

データと AI で未来を拓く：第一部「デジタル・エコシステムで創る社会・産業新世紀」



独立行政法人情報処理推進機構(IPA)
理事長兼デジタルアーキテクチャ・
デザインセンター長

齊藤 裕氏

データと AI で未来を拓く：第二部「デジタル・エコシステムの実現に向けて」



独立行政法人情報処理推進機構(IPA)
デジタル基盤センター長、AIセーフティ
インスティテュート副所長、事務局長

平本 健二氏

12:30 - 14:00 HB-23 コンベンションホールB

スマートホーム 2.0 がもたらすスマートホームの未来



Connectivity Standards Alliance
CEO

トビン・リチャードソン氏



三菱地所株式会社
住宅業務企画部 統括

橋 嘉宏氏



早稲田大学 スマート社会技術融合研究機構
先進グリッド技術研究所
研究院 教授

石井 英雄氏



株式会社アクセルラボ
取締役 CTO

青木 健孝氏



美和ロック株式会社
取締役 商品開発本部長

木下 琢生氏



X-HEMISTRY 株式会社
代表取締役
Connectivity Standards
Alliance 日本支部 代表

新井 文将氏

14:30 - 15:30 HB-25 コンベンションホールB

RNA テックの共創で切り拓く、未来の暮らし ～美容・健康から始まる新しいライフスタイル～



花王株式会社
研究開発部門 スキンケア研究所
グループリーダー

菊池 祥氏



キリンホールディングス株式会社
ヘルスサイエンス事業本部
ヘルスサイエンス研究所 主査

牛田 悠介氏



株式会社アイスタイル
上級執行役員 CSO 兼 経営戦略室長

濱田 健作氏

16:00 - 17:00 HB-27 コンベンションホールB

産業データスペース構築に向けた課題と今後の展望



デジタル庁
戦略・組織グループ データ戦略担当 企画官
デジタルエコシステム官民協議会 企画運営委員

吉田 泰己氏



Green x Digital コンソーシアム
見える化 WG 主査
(日本電気株式会社)

稲垣 孝一氏



一般社団法人 自動車・蓄電池
トレーサビリティ推進センター
(ABtC)
代表理事

藤原 輝嘉氏



ロボット革命・産業 IoT インフラ整備協議会 (RRI)
WG1 共同主査
経済連産業界データベース検討会 委員 (株式会社日立製作所)
デジタルエコシステム官民協議会 企画運営委員

入江 直彦氏



CMP-TF
共同リーダー (キヤノン株式会社)

古田 清人氏

10:00 - 12:45 HA-21 コンベンションホールA

5G/6G スペシャルデー II Day 1 —5G/ ローカル 5G の進化と発展— セッション1 ～5G の国内外状況と展望～

5G の更なる発展と情報通信インフラ政策の推進



総務省
総合通信基盤局長

ドコモの 5G の今までとこれから



株式会社 NTT ドコモ
執行役員 ネットワーク本部長

KDDI における 5G の導入状況及び今後の展望



KDDI 株式会社
執行役員専務 CTO
コア技術統括本部長

AI 社会に向けた 5G ネットワークの進化



ソフトバンク株式会社
専務執行役員 兼 CTO

5G 導入状況と今後の展望



楽天モバイル株式会社
執行役員 先端技術開発統括部
ディレクター

AI ネイティブ社会に向けた 5G/6G ネットワーク



日本電気株式会社
執行役員 Corporate EVP 兼
テレコムサービスビジネスユニット長

1Finity の海外戦略 閉会



1FINITY 株式会社
執行役員 COO

インフラシェアリングの現在地と展望：
国内外トレンドと日本モデル



Sharing Design 株式会社
常務執行役員 経営企画・事業推進担当



XGMF 共同代表、東京大学
教授

13:30 - 15:15 HA-24 コンベンションホールA

5G/6G スペシャルデー II Day 1 —5G/ ローカル 5G の進化と発展— セッション2 ～5G/ ローカル 5G による産業 DX 推進～

実装が進むローカル 5G



NTT 東日本株式会社
無線 & IoT ビジネス部 5G/ IoT
企画担当 担当部長

未来のダム建設現場を支えるローカル 5G



KDDI エンジニアリング株式会社
新規事業本部 新規事業推進部
ネットワークソリューション推進 G
グループリーダー

省人化に挑むローカル 5G が拓く建設 DX



株式会社大林組
土木本部 生産技術本部 企画部
部長

NSSOL のスマートファクトリーへの取り組み紹介と
ローカル 5G の導入事例



日鉄ソリューションズ株式会社
産業ソリューション事業本部
コネクテッド・インダストリー事業推進センター
エンジニアリング部 部長

九州電力におけるローカル 5G ネットワークのご紹介
～発電所のスマート保安 (DX) の実現～



九州電力株式会社
情報通信本部 通信ソリュー
ショングループ

ローカル 5G の広がりを支える
—商用化に向けた進化系アプローチ—



NTT ドコモビジネス株式会社
プラットフォームサービス本部
5G & IoT サービス部 第一サー
ビス部門 7G 担当課長

首都高速の次世代通信基盤：
ローカル 5G による通信強化と現場 DX



首都高速道路株式会社
技術部 施設技術課 係長

地下鉄フィールドにおける 5G/L5G を用いた
鉄道業務用アプリケーションの情報伝送試験



公益財団法人鉄道総合技術研究所
情報通信技術研究部
通信ネットワーク 室長

ローカル 5G の利活用～地域交通への期待～



地域 BWA 推進協議会
BWA 推進部会長

海外のプライベート 5G 市場の動向と最新事例紹介



ノキアソリューションズ&ネットワーク合同会社
クラウド&ネットワークサービス事業部
エンタプライズキャンパスエッジソリューション
ビジネスセンター 事業開発マネージャー

5G/ ローカル 5G が拓く産業 DX の新世界：
端末進化で広がる活用術



京セラみらいエンビジョン株式会社
営業統括部 副事業部長

ローカル 5G 網を活用した自律走行ロボット等
によるスマート保安実現に向けた取り組み



広島ガス株式会社
経営企画部 イノベーション推進
室 課長代理

ローカル 5G の広がりを支える
—商用化に向けた進化系アプローチ—



東京大学 中尾研究室

15:30 - 17:00 HA-25 コンベンションホールA

5G/6G スペシャルデー II Day 1 —5G/ ローカル 5G の進化と発展— セッション3 ～ミリ波による 5G のさらなる発展～

セッションご説明



XG モバイル推進フォーラム
ODAIBA IX Core プロジェクト 共同サブリーダー
リアルコムジャパン合同会社 標準化本部長

XGMF ODAIBA IX Core プロジェクト
mmW への取り組み



XG モバイル推進フォーラム
ODAIBA IX Core プロジェクト 共同サブリーダー
リアルコムジャパン合同会社 標準化本部長

推し活 x ミリ波～試行錯誤の先に見えてきた可能性～



XG モバイル推進フォーラム
推し活 x 5G (ミリ波・ローカル 5G) プロジェクト リーダー
株式会社日立製作所 技術・事業開発本部 技術企画・新規事業推進統括部
ネットワーク技術開発部 次世代通信事業推進プロジェクト/エンジニア

ガラス部材による空間電磁波制御の可能性



AGC 株式会社
材料融合研究所 機能部材部
電磁波チーム サブリーダー

semiDAS™ ミリ波対応分散アンテナ システムのご紹介



住友電気工業株式会社
情報ネットワーク研究開発センター
無線システム研究部 主幹

革新的無線中継技術によるミリ波利活用の最前線



KDDI 株式会社
コア技術統括本部 ネットワーク開発本部
アドバンスド技術推進部 部長

革新的無線中継技術によるミリ波利活用の最前線



京セラ株式会社
無線ネットワーク開発統括部
統括部長

ミリ波で創る感動体験



株式会社 NTT ドコモ
経営企画部 電波企画室
電波担当課長

国際会議場 2F 201 会議室	国際会議場 3F 301 会議室	展示ホール 6 E ステージ	展示ホール 4 T ステージ	展示ホール 5 AX ステージ	展示ホール 6 NGP ステージ
10:30 - 11:30 R2-21 ウラノス・エコシステムのデータスペース開発と社会実装の最前線	10:30 - 11:30 R3-21 次世代組込みシステム開発への技術革新の検討	10:30 - 10:55 ES-21 地域課題解決のための人流データ活用について 11:00 - 11:25 ES-221 地図 × 気象 DX が拓く行動変容の未来 物流の持続性、マーケティングの精度、観光体験の向上を実現	10:30 - 11:10 TS-21 一人の活躍を経済成長にー国際標準と国内デファクト標準推進活動及び取り組み事例紹介	10:30 - 11:00 AS-21 生成 AI を取り巻くトレンドと国産基盤モデル PLaMo の社会実装に向けた取り組み	10:30 - 11:30 NS-21 地域 × 知財 × SPIN X『眠れる知財・技術を地域 GDP に変える』
12:00 - 13:00 R2-23 すごい技術を、売れる技術にする方法～電通「R&D&C」の事業伴走クリエイティブ～	12:00 - 13:00 R3-23 生成 AI の活用・ビジネス活用の現状	11:30 - 11:55 ES-222 データで変わる、次世代のまちづくりと意思決定 12:00 - 12:25 ES-231 位置情報データビジネスのすゝめ 12:30 - 12:55 ES-232 位置情報ビッグデータが変えるまちづくりの未来	11:30 - 12:10 TS-22 お預かりした生活情報から住まい手の無形資産を創造する新しい住まい 12:30 - 13:10 TS-23 LIXIL のスマートホームアプリの UI/UX アプローチと事例紹介	11:30 - 12:00 AS-22 製造業における生成 AI / AI Agent の最新事例と実践的な導入術	11:45 - 12:45 NS-22 CEATEC 2025 海外スタートアップピッチ & 交流会
13:30 - 14:30 R2-24 Deeper Dive - 生成 AI × 検証技術で実現する、ハードウェアに最適化されたコードの生成		13:00 - 13:25 ES-241 人流データと GIS で勝ち抜く商圏分析 13:30 - 13:55 ES-242 日本企業の「AI 導入の壁」を突破する～大手企業における AI 導入リスク対策事例 14:00 - 14:25 ES-251 リアルタイム人流と地理空間情報を活用した市民のためのデジタルツイン 14:30 - 14:55 ES-252 生成 AI × 地理空間情報が切り拓く未来	13:30 - 14:10 TS-24 半導体オープンカリキュラム 14:30 - 15:10 TS-25 超高齢社会を支える、ヘルスケア AI・DX の最新動向	13:00 - 13:35 AS-241 スーパーコンピュータによる「AI for Science」取り組み最前線：AI とのつくりが出来るとき～AI の創造性を制御せよ。自動車空力設計を例に～ 13:45 - 14:20 AS-242 スーパーコンピュータによる「AI for Science」取り組み最前線：「富岳」を用いた解析能力向上～地震問題を例に～ 14:30 - 15:05 AS-25 スーパーコンピュータによる「AI for Science」取り組み最前線：AI/DX で拓くデータ駆動型創業の未来	13:00 - 14:00 NS-24 愛知県企業 × 海外スタートアップ共創プログラム “Landing Pad” から紐解く「日本型オープンイノベーションのあるべき姿」 14:15 - 15:15 NS-25 新規事業経営の全体像大企業の業態変革ロードマップを解説
15:00 - 16:00 R2-26 バーチャルトレーニング活用による人材育成の革新	15:00 - 16:00 R3-26 教育現場での生成 AI の活用や学びと課題	15:00 - 15:25 ES-261 日本企業の AI 浸透における論点 私たちは AI 時代をどう生きるべきか 15:30 - 15:55 ES-262 トラックのデータから見える物流の現状とこれからのデータ活用	15:30 - 17:00 TS-26 半導体アカデミアセッション	15:15 - 15:50 AS-26 スーパーコンピュータによる「AI for Science」取り組み最前線：「富岳 NEXT」に向けた AI for Science 基盤モデル	15:30 - 17:00 NS-26 テクノロジーが切り拓く地域産業：自治体協業ニュースピッチ & イノベーション討論会

展示ホール 5 P ステージ
PS-221 ナノ秒紫外レーザーによる高密度ナノドット形成技術と高効率シリコン太陽電池への応用
PS-222 医工連携に向けたロボット技術
PS-24 生成 AI による特許調査・分析の次世代化！ Patentfield のご紹介
PS-242 【即戦力人材で事業を加速させる！】ハイクラス副業人材マッチングサービス「lotsful」
PS-25 技術を映像で広げ、映像を技術で広げる映像プロダクション BONSAI STUDIO
PS-251 オプトルのメタレンズ開発
PS-253 AxWorks - AI で映像制作を“加速”するチーム
PS-26 電気自動車向け充電インフラの導入方法をゲームチェンジ

展示ホール 4 G ステージ
GS-24 カナダ・オンタリオ バビロン ピッチ：AI からサステナビリティまで
GS-26 インドバビロンピッチ：インド発イノベーション



10:00 - 12:00

HB-31

コンベンションホールB

次世代コンピューティングのフロンティア ～理化学研究所が取り組む計算可能領域の拡張～

「富岳 NEXT」のシステム開発：国際連携による次世代「AI-HPC プラットフォームの構築」



理化学研究所 計算科学研究センター
次世代計算基盤開発部門 / 部門長
近藤 正章 氏

「富岳 NEXT」のシステム開発：次世代コンピューティングインフラストラクチャの実現に向けて



富士通株式会社
先端技術開発本部
/ エグゼクティブディレクター
吉田 利雄 氏

「富岳 NEXT」のシステム開発：進化するアプリケーションの実現に向けた次世代コンピューティングの挑戦



エヌビディア合同会社
エンタープライズ事業本部
/ 事業本部長
井崎 武士 氏

「富岳 NEXT」のアプリケーション開発：「富岳 NEXT」で計画されるアプリケーションと応用可能性



理化学研究所 計算科学研究センター
次世代計算基盤開発部門 次世代計算
基盤アプリケーション開発ユニット
/ ユニットリーダー
青木 保道 氏

「富岳 NEXT」のアプリケーション開発：「富岳 NEXT」が目指すサイバーフィジカルシステム・大規模デジタルツインの構築



理化学研究所 計算科学研究センター
大規模デジタルツイン研究チーム
/ チームプリンシパル
山口 弘純 氏

量子 HPC 連携プラットフォームの構築：量子 HPC 連携プラットフォームの現在地と展望



理化学研究所 計算科学研究センター
量子 HPC 連携プラットフォーム部門
/ 部門長
佐藤 三久 氏

量子 HPC 連携プラットフォームの構築：量子 HPC 連携の可能性と応用 ～次世代計算の展望～



大阪大学
量子情報・量子生命研究センター
/ 准教授
上田 宏 氏

13:30 - 14:30

HB-34

コンベンションホールB

多様性が生み出す変革：イノベーションにつながるアクションとは



Deportare Partners
代表
為末 大 氏



特定非営利活動法人 Waffle
理事長
田中 沙弥果 氏



日本 IBM 株式会社
理事 研究開発
テクノロジー・エンゲージメント
高橋 志津 氏



NTT 株式会社
常務取締役 常務執行役員
研究開発マーケティング本部長
CCXO、Co-CAIO
大西 佐知子 氏



KPMG コンサルティング株式会社
ソーシャルバリュークリエーション
執行役員 パートナー
麻生 多恵 氏

15:00 - 16:00

HB-36

コンベンションホールB

海洋 AI ～海の見える化から始まる海洋イノベーションの潮流～



長崎大学
海洋未来イノベーション機構
征矢野 清 氏



東京海洋大学
流通情報工學部門・教授
竹縄 知之 氏



富士通株式会社
コンパージングテクノロジー研究所
所長
山田 亜紀子 氏



ニューラルエックス
創業者兼社長
仲田 真輝 氏

10:00 - 12:35

HA-31

コンベンションホールA

5G/6G スペシャルデー II Day 2 —5G 高度化、6G 最新状況と展望— セッション4 ～Beyond 5G(6G) global trend～

Beyond 5G の最新動向



総務省国際戦略局
局長
布施田 英生 氏

6G : India Perspectives



Bharat 6G Alliance
Director General
Rajesh Kumar Pathak 氏

B5G activities in Korea



Dankook University, Korea
Professor
LEE, HyeonWoo 氏

Status of 6G Development in North America



Alliance for Telecommunications
Industry Solutions (ATIS)
Managing Director, ATIS Next G
Alliance
Jaydee Griffith 氏

Update and Results from European 6G



6G-IA
Chairman of the Board
Colin Willcock 氏

Way Forward for FCP towards 6G



Singapore University of Technology and Design
Associate Provost (AI & Digital Innovation) and
Director (Future Communications Programme)
Tony Quek 氏

Panel discussion



株式会社 NTTドコモ
R&D 戦略部 CSO
中村 武宏 氏



東京大学
大学院工学系研究科 教授
中尾 彰宏 氏

Closing



東京大学
大学院工学系研究科 教授
中尾 彰宏 氏

13:30 - 15:15

HA-34

コンベンションホールA

5G/6G スペシャルデー II Day 2 —5G 高度化、6G 最新状況と展望— セッション5 ～6G and AI～

ソフトバンクの AI インフラ戦略



ソフトバンク株式会社
執行役員 先端技術研究所 所長
湧川 隆次 氏

AI native な 6G ネットワークの実現に向けて



株式会社 NTTドコモ
6G テック部 担当部長
磯部 慎一 氏

Beyond 5G における OpenRAN 無線通信技術の研究開発について



楽天モバイル株式会社
イノベーションプログラム開発事業部
ジェネラルマネージャー
朽津 光広 氏

B5G/6G を支える AI 革新と KDDI の挑戦



株式会社 KDDI 総合研究所
無線部門長
山本 俊明 氏

AI ネイティブ 6G に向けたエヌビディアの展望



エヌビディア合同会社
テレコムビジネスユニット
野田 真氏

通信と AI の融合が創る次世代サイバーインフラ



東京大学
大学院工学系研究科 教授
中尾 彰宏 氏

15:30 - 17:00

HA-36

コンベンションホールA

5G/6G スペシャルデー II Day 2 —5G 高度化、6G 最新状況と展望— セッション6 ～6G strategy session～

司会



株式会社 NTTドコモ
CSO
中村 武宏 氏

B5G 基金の進展



国立研究開発法人 情報通信研究機構
革新的情報通信技術研究開発事業
プログラムディレクター
萩本 和男 氏

XGMF における 6G 関連の取組概要



エリクソン・ジャパン株式会社
技術本部
本多 美雄 氏

パネルディスカッション



東京大学
大学院工学系研究科 教授
中尾 彰宏 氏



エリクソン・ジャパン株式会社
CTO
鹿島 毅 氏



国立研究開発法人 情報通信研究機構
理事
徳田 英幸 氏



株式会社 KDDI 総合研究所
無線部門長
山本 俊明 氏



総務省
国際戦略局技術政策課長
松井 正幸 氏



慶應義塾大学
教授
大槻 知明 氏



国立研究開発法人 情報通信研究機構
オープンイノベーション推進本部
総合プロデュースオフィス
プロデュース企画室長
大塚 恵理 氏



ソフトバンク株式会社
「プロダクト」技術本部 2G ネットワーク企画
統括部 事業戦略部 事業企画 1 課長
津田 祐也 氏



慶應義塾大学
教授
大槻 知明 氏



株式会社 NTTドコモ
6G テック部 担当部長
磯部 慎一 氏



エリクソン・ジャパン株式会社
CTO
鹿島 毅 氏

XGMF における 6G 関連の取組概要



国立研究開発法人 情報通信研究機構
Beyond5G 研究開発推進ユニット長
テラヘルツ研究センター長 (兼務)
寶迫 巖 氏

閉会挨拶



一般社団法人電波産業会
理事
西岡 誠治 氏



国立研究開発法人 情報通信研究機構
電磁波研究所電磁波標準研究センター
時空標準研究室長
井戸 哲也 氏

国際会議場 2F 201 会議室	国際会議場 3F 301 会議室	展示ホール 6 E ステージ	展示ホール 4 T ステージ	展示ホール 5 AX ステージ	展示ホール 6 NGP ステージ
			10:15 - 11:15 TS-31 地方創生伴走支援チーム「触媒」。 地方創生支援官と拓く市町村のこれから		
10:30 - 11:00 R2-31 ～ニッポンの生成 AI 開発力を解き放つ～ 経済産業省・NEDO が進める生成 AI 開発支援事業 “GENIAC” の現在地	10:30 - 11:30 R3-31 デジタル時代におけるソリューションサービス市場動向および事業戦略と人材戦略の在り方について	10:30 - 11:30 ES-31 【特許庁 IP BASE】 オープンイノベーション成功の鍵を握る		10:30 - 11:30 AS-31 IPA 全センターが集結する 1 日限りのスペシャルセッション ～データと AI の時代を見据えて：IPA の挑戦	10:30 - 11:30 NS-31 社内起業家が語る！スピンオフ戦略とスタートアップ成長の可能性
11:15 - 13:00 R2-32 GENIAC における基盤モデル開発企業の開発成果			11:30 - 12:10 TS-32 位置情報業界 5 人が語る業界の「進化」と「余白」	11:50 - 12:50 AS-32 IPA 全センターが集結する 1 日限りのスペシャルセッション ～データと AI の時代を見据えて：IPA の挑戦	11:45 - 12:45 NS-32 CEATEC × Japan Mobility Show コラボステージ「デジタル変革が加速させるモビリティ産業の未来」
	12:00 - 13:00 R3-33 データ・アウェアな IT サービスにおける実践ガイドの取り組み	12:00 - 13:00 ES-33 NVIDIA DGX™ が拓く、これからの AI 人材育成	12:30 - 13:10 TS-33 B2C 企業が届ける、暮らしに寄り添うスマート体験 ——生活ニーズの多様化に応えるエディオンの挑戦		
				13:10 - 13:50 AS-34 IPA 全センターが集結する 1 日限りのスペシャルセッション ～データと AI の時代を見据えて：IPA の挑戦	13:00 - 14:00 NS-34 ヘルスケア領域の新規事業開発とオープンイノベーション戦略 明治と第一三共ヘルスケアの実践論
13:30 - 14:30 R2-33 社会実装の加速に向けた GENIAC の今後の取り組み	13:30 - 14:30 R3-34 日本発！次世代モビリティ～新技術に挑むベンチャー経営者に聞く	13:30 - 14:30 ES-34 技術の社会実装とイノベーション創出に向けたビッグデータ情報活用	13:30 - 14:10 TS-34 SOMPO が取り組む次世代モビリティへの挑戦		
			14:30 - 15:10 TS-35 「花王 × @cosme 登場 RNA 肌遺伝子モード解析が創る美容の新スタンダードと共創コンソーシアムのロードマップ」	14:10 - 14:30 AS-351 IPA 全センターが集結する 1 日限りのスペシャルセッション ～データと AI の時代を見据えて：IPA の挑戦	14:15 - 15:15 NS-35 メガバンク VC3 社キャピタリストが語る「激変する市場環境におけるスタートアップ・企業共創のあり方とは」
14:45 - 15:45 R2-34 ～ GENIAC のデータ・AI の利活用促進に向けた支援～ データ実証事業の取り組み GENIAC データ実証事業	15:00 - 16:00 R3-36 2030 年に向けた脱炭素デジタル戦略： Scope3 情報開示の市場動向から産業界の対応を考える	15:00 - 16:00 ES-36 量子技術の産業化に向けた産総研 G-QuAT の戦略		14:45 - 15:05 AS-352 IPA 全センターが集結する 1 日限りのスペシャルセッション ～データと AI の時代を見据えて：IPA の挑戦	
			15:30 - 17:00 TS-36 スマートホームの未来： IoT 家電・住設機器における暮らしのデータ連携と防災活用	15:20 - 15:40 AS-361 IPA 全センターが集結する 1 日限りのスペシャルセッション ～データと AI の時代を見据えて：IPA の挑戦	15:30 - 17:00 NS-36 CEATEC 2025 ネクストジェネレーションパークピッチコンテスト
16:00 - 17:00 R2-35 海外展開に関するディスカッション				15:55 - 16:15 AS-362 IPA 全センターが集結する 1 日限りのスペシャルセッション ～データと AI の時代を見据えて：IPA の挑戦	
				16:30 - 16:50 AS-37 IPA 全センターが集結する 1 日限りのスペシャルセッション ～データと AI の時代を見据えて：IPA の挑戦	

展示ホール5 P ステージ

- PS-31
VENTURE PITCH ONLINE CEATEC Special Edition
- PS-34
触れて感じる、次世代の4D映像体験
- PS-342
生成AIによる特許調査・分析の次世代化！
Patentfieldのご紹介
- PS-35
【即戦力人材で事業を加速させる！】ハイクラス創業人材マッチングサービス「lotsful」
- PS-351
VMFi Inc.
- PS-361
老朽化インフラを救う！省電力IoT × AI 異常検知によるメンテナンス革命
- PS-362
岩手県立大学「企業学群」ピッチステージ
- PS-373
言葉を使っている重度障害者に表現を再生するプロジェクト

展示ホール4 G ステージ

- GS-34
EU パビリオン ピッチ：ヨーロッパにおけるデジタルソリューション
- GS-36
ラトビア パビリオン ピッチ：デジタルイノベーション-クラウドインテリジェンスからスマートモビリティまで



10:30 - 11:30

HB-41

コンベンションホールB

大阪・関西万博と空飛ぶクルマ ～舞台裏に迫る！次世代モビリティ最前線～



オリックス株式会社
法人営業本部 国内事業推進部
モビリティイノベーションチーム長
杉山 良氏



ANA ホールディングス株式会社
未来創造室 モビリティ事業創造部
エアモビリティ事業チーム事業開発
/ パートナーシップリード マネジャー
保理江 裕己氏

12:00 - 13:00

HB-43

コンベンションホールB

次世代モビリティ× HMI/ ディスプレイ



自動車 / 環境ジャーナリスト
川端 由美氏



アルプスアルパイン株式会社
DCS 先行開発部 主幹
後藤 康之氏



名古屋大学
モビリティ社会研究所 客員教授
野辺 健男氏



日亜化学工業株式会社
第二部門事業企画本部 技術企画部
主幹技術師補
秋元 肇氏



シャープ株式会社
パネルセミコン研究所
技術戦略推進部 課長
樽井 大策氏

13:30 - 14:30

HB-44

コンベンションホールB

真に実装されるオープンイノベーションのための処方箋 ～政策と支援観点からみる共創の難所と克服策～



経済産業省
イノベーション・環境局
イノベーション創出新規事業推進課
スタートアップ推進室 課長補佐
鈴木 裕也氏



アビームコンサルティング株式会社
執行役員 プリンシパル未来価値
創造戦略ユニット長
橋 知志氏



国立研究開発法人新エネルギー・
産業技術総合開発機構
スタートアップ支援部統括課
課長
和佐田 健二氏

15:00 - 16:45

HB-46

コンベンションホールB

CEATEC 2025 クロージングセッション 『万博のレガシーを継承し大阪・関西から未来を切り拓く』

基調講演



大阪府知事



公益社団法人2025年日本国際
博覧会協会
持続可能性局長
永見 靖氏

吉村 洋文氏

パネルディスカッション



大阪府知事



BIPROGY 株式会社
事業開発本部 事業推進三部・
部長
三宅 裕昭氏

吉村 洋文氏



モデレータ

キャスター



大阪市高速電気軌道株式会社
代表取締役社長
河井 英明氏



大阪商工会議所
副会頭

廣瀬 恭子氏

榎戸 教子氏

10:30 - 11:30

HA-41

コンベンションホールA

「PAI - Positive Action Initiative」 官民で挑む脱炭素の価値化への挑戦



一般社団法人 LBMA Japan
代表理事
川島 邦之氏



株式会社メルカリ
経営戦略室 政策企画 参事
布施 健太郎氏



環境省
地球環境局 デコ活応援隊長
清水 延彦氏



NTTドコモビジネス株式会社
ビジネスソリューション本部
ソリューションサービス部
デジタルイノベーション部門 担当課長
宮田 吉朗氏



楽天グループ株式会社
地域創生事業 パブリックアカウント課
コンサルティング第2チーム
アシスタントマネージャー
金井 大樹氏



株式会社 JTB
企画開発課 地域交流グループ
企画開発プロデュースセンター
Earth Gift 事業推進担当
坂本 尚悠氏

12:00 - 13:00

HA-43

コンベンションホールA

「"勘と経験"から"データとAI"へ 製造業イノベーションの最前線」 ～先進企業実践する、次の事業の『種』の見つけ方～



住友化学株式会社
取締役 専務執行役員 技術・研究企画、DX推進、
知的財産、工業化技術研究所、生物環境科学研究所、
先端材料開発研究所、バイオサイエンス研究所 統括
山口 登造氏



株式会社 AIST Solutions
代表取締役社長
遠坂 清治氏



ストックマーク株式会社
代表取締役 CEO
林 達氏

13:30 - 14:30

HA-44

コンベンションホールA

「なぜ今、企業の研究開発にクリエイティブが必要なのか？」 — 電通のエグゼクティブ・クリエイティブディレクターが語る、 Playful R&D の事例紹介



Dentsu Lab
エグゼクティブ・クリエイティブ
ディレクター
田中 直基氏



クリエイティブ・テクノロジスト
村上 晋太郎氏



コミュニケーション・プランナー
後藤 萌氏

15:00 - 16:30

HA-46

コンベンションホールA

未来探索が経営・事業・社会へもたらす価値とは



未来予報株式会社
代表取締役 / フューチャリスト
宮川 麻衣子氏



ソニーグループ株式会社
クリエイティブセンター
センター長
石井 大輔氏



NTTドコモビジネス株式会社
イノベーションセンター
デザイン部門
田中 友美子氏



合同会社コンテナスト・ジャパン
[WIRED] 日本版 エディター・アット・ラージ
小谷 知也氏

国際会議場 2F 201 会議室	国際会議場 3F 301 会議室	展示ホール 6 E ステージ	展示ホール 4 T ステージ	展示ホール 5 AX ステージ	展示ホール 6 NGP ステージ
				10:30 - 12:00 AS-41 火星に行って、地球に帰ってくる方法	10:30 - 11:30 NS-41 研究室から世界へ： 大学発スタートアップの挑戦
10:30 - 12:00 R2-41 IOFDS オープンラウンドテーブル	10:30 - 11:30 R3-41 2035 年までの電子部品技術ロードマップ ～生成 AI の電子部品へのインパクト～	10:30 - 11:30 ES-41 ～ 30 年間の最大手電機メーカーでの経験とビザスクでの 2 年間で見てきた方向性～ 生産性を向上する「集合知」＝ビザスクの活用方法とは	10:30 - 12:10 TS-41 豊かな暮らしを支えるデジタル交通社会の実現 ～新たなモビリティ製品・サービス普及拡大による社会課題の解決～	12:15 - 12:45 AS-43 定性情報を定量化してわかった、成長企業の「技術革新」	11:45 - 12:45 NS-42 アート × 都市 × 企業が描く新たな共創像とは
	12:00 - 13:00 R3-43 国家戦略特区で拓く未来社会～大阪から始まるデータ駆動社会の実現へ～	12:00 - 13:00 ES-43 国内最高峰スーパーフォーミュラにおける IT と AI の現状 および今後の展望		13:00 - 13:35 AS-441 スーパーコンピュータによる「AI for Science」取り組み最前線： 「富岳」が駆動する構造設計向け 3D 生成 AI シミュレーションとの融合、そして「富岳 NEXT」へ	13:00 - 14:00 NS-44 東レ流 “未来の創り方” ～現代版 “のれん分け” による “シン・繊維産業” 創造への挑戦～
13:00 - 16:00 R2-44 IDSA データ・スペース・ディスカバリー・デイ東京 2025 - つながるデータ、動き出す未来 -	13:30 - 14:30 R3-44 日本と米国における GPU 活用最前線 (生成 AI の現状と未来展望)	13:30 - 14:30 ES-44 From DX to AX: The Next Leap in Japan's Innovation Journey	12:30 - 13:10 TS-43 AI で実現するマーケティングの民主化 ～すべての企業に開かれた成長戦略	13:45 - 14:20 AS-442 スーパーコンピュータによる「AI for Science」取り組み最前線： 量子化学の最近の進展:シミュレーション, AI, 量子コンピューティング	14:15 - 15:15 NS-45 IBM × NEC が語る。 なぜ新規事業に挑むのか？
			13:30 - 15:10 TS-44 “行政 DX: 高いリスク、苦渋の選択、大胆な革新” EU と日本における行政 DX ——発注者と提供者による対話	14:30 - 15:05 AS-45 スーパーコンピュータによる「AI for Science」取り組み最前線： 大規模脳データとスーパーコンピュータによるデジタル脳構築	15:30 - 17:00 NS-46 CEATEC 2025 事業会社発新規事業 / スピンオフ ビッチコンテスト
		15:00 - 16:00 ES-46 未来のクルマをつくる ～ EV 開発を加速するアソシエーションの取り組み～		15:15 - 15:50 AS-46 スーパーコンピュータによる「AI for Science」取り組み最前線： AI × データ同化: 大阪・関西万博会場周辺のゲリラ豪雨予報から将来展望へ	
			15:30 - 17:00 TS-46 命の電源、未来へつなぐ ～ポータブルバッテリー・電動車による、災害時の電力途絶下でも医療を止めないための具体策～		

展示ホール5 Pステージ PS-411 ドメイン特化型LLM の最新情報 PS-412 「力加減をデジタル化するリアルハプティクス」協働ロボットと汎用多関節ハンドが実現する、高適用・高汎用な自動化ソリューション PS-421 生成AIによる特許調査・分析の次世代化！ Patentfieldのご紹介 PS-422 Aokumo AI PS-423 位置情報分析の現在地 ～都市計画から売上予測まで～ PS-424 AIが進化すればするほど浮き彫りになる 様々なポータルネック PS-43 ウェアラブル対応熱流束センサで深部体温から健康リスクを即検知 PS-431 電流導通経路を観る&見る&診る、その先の 予防工学へ	PS-432 AI時代を勝ち抜け！ 事例で語る“今”と“その先の可能性” PS-433 生成AI Promptの型付き高階理論とその応用 PS-441 生成AIで発掘！特許×論文ビッグデータで 自社の強みを活かし、新ビジネス創出に貢献！ PS-442 2,000事例から学ぶ、生成AIエージェント活用の “勝ちパターン” PS-443 AI Marketへの1,000件を超える相談事例から知る最新のAI活用事例 PS-444 保険の新しい体験価値の創出 PS-451 ロボットは人手不足解消の鍵となるか？ PS-452 嗅覚ディスプレイを用いた嗅覚メディア	PS-453 「誰でも使える材料開発AI — マテリアルズ・インフォマティクスの民主化が拓く製造業の新時代」 PS-461 商工業向けディスタグリーゲーション電流計とアクション提案EMS PS-462 【中高生】MONO-COTO INNOVATION 優勝チームアイデアビッチ PS-463 触感AIで人の手の感覚をデジタル知能へ ～ 製造業に次世代のグローバル標準を提案 PS-464 「データを探す・まとめる・読む」から「聞くだけ」へ。 現場で進む対話型AI活用の最前線 PS-47 補助金を活用した法人営業推進	展示ホール4 Gステージ GS-44 ウクライナ パビリオン ビッチ： ウクライナ発イノベーション GS-45 ウクライナ IT パビリオン ビッチ： ウクライナ ITイノベーション GS-46 ウズベキスタン ビッチ： ウズベキスタンにおける IT オフショア開発の可能性
---	---	---	---

実績データ

出展者実績

出展状況

出展者数

810 社/団体

新規出展者数

318 社/団体

スタートアップ/大学研究機関出展者数

232 社/団体

海外出展者数

29 か国/地域より 156 社/団体

エリア	出展者数			ブース数
	日本	海外	合計	
企業／団体展示				
General Exhibits	334	88	422	865
企画展示				
AXパーク	25	8	33	100
パートナーズ&グローバルパーク	152	48	200	263
ネクストジェネレーションパーク	143	12	155	200
合計	654	156	810	1,428

欧州地域 (19ヶ国/地域 30社/団体)

アイルランド(1)、イギリス(1)、イタリア(1)、ウクライナ(3)、エストニア(1)、オーストリア(1)、オランダ(1)、スウェーデン(1)、スペイン(2)、ドイツ(2)、ノルウェー(2)、ハンガリー(1)、フランス(2)、ベルギー(2)、ポーランド(1)、ポルトガル(1)、ラトビア(5)、リトアニア(1)、ルーマニア(1)

北米地域 (2か国/地域 25社/団体)
アメリカ合衆国(15)、カナダ(10)

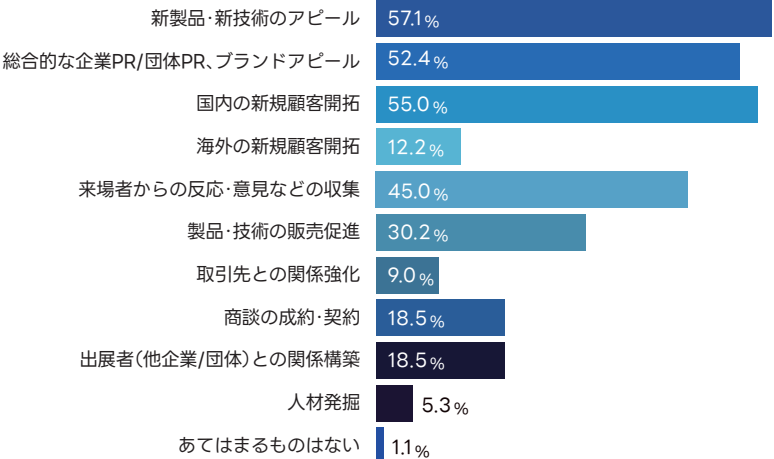
アジア地域 (8か国/地域 101社/団体)

インド(2)、ウズベキスタン(1)、韓国(14)、シンガポール(1)、台湾(34)、中国(43)、香港(5)、マレーシア(1)

出展者アンケート

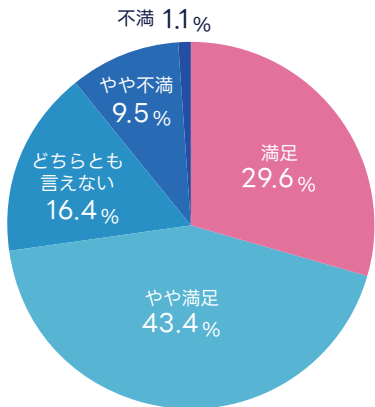
Q

どのような目的で出展されましたか？



Q

今回の出展に関する総合評価をお聞かせください。

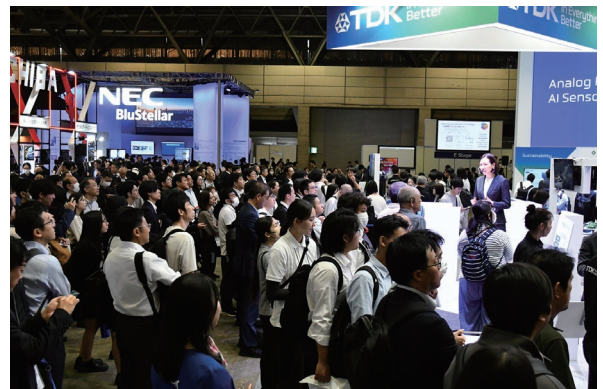
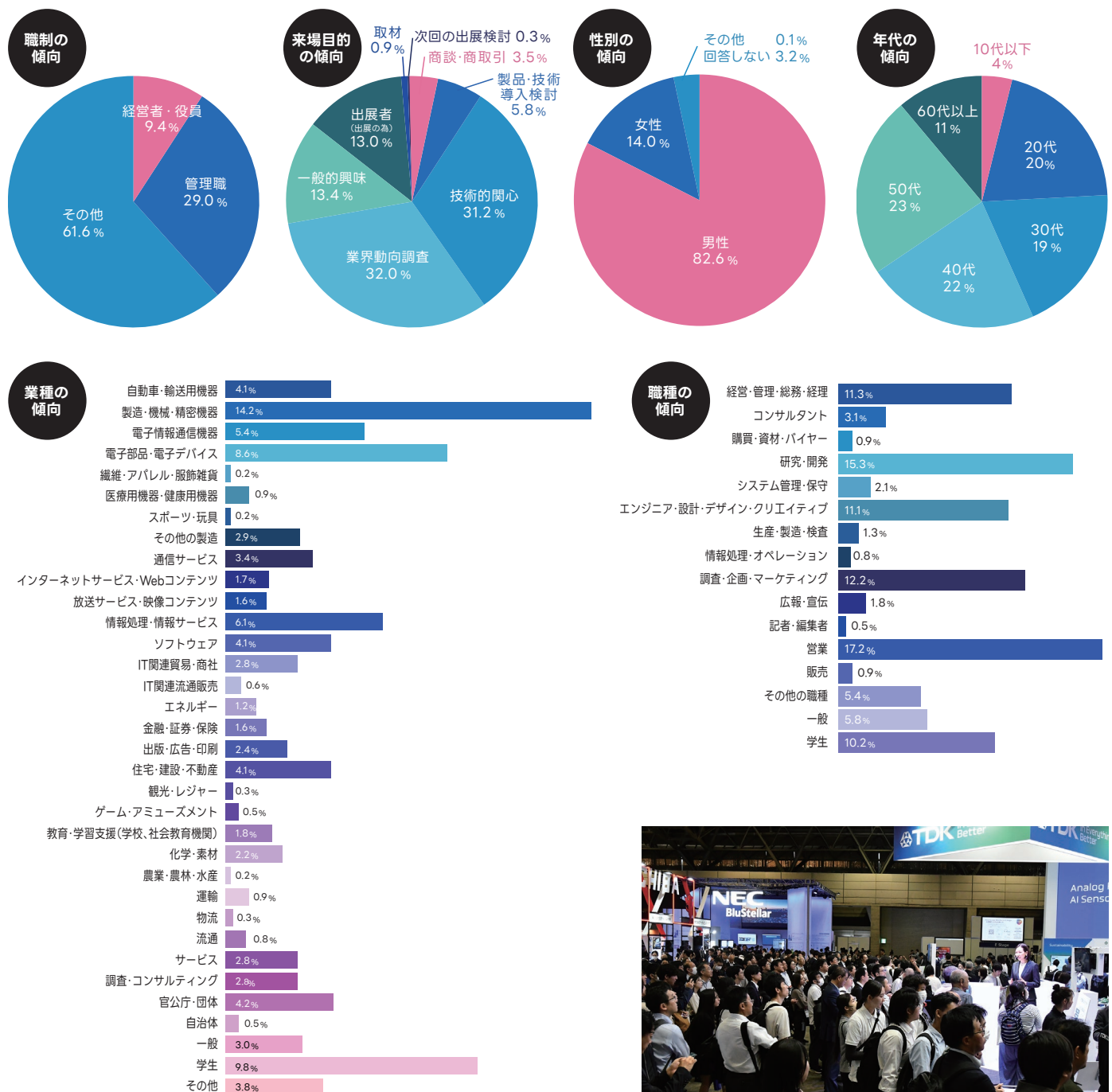


来場者実績

CEATEC 2025 来場者数

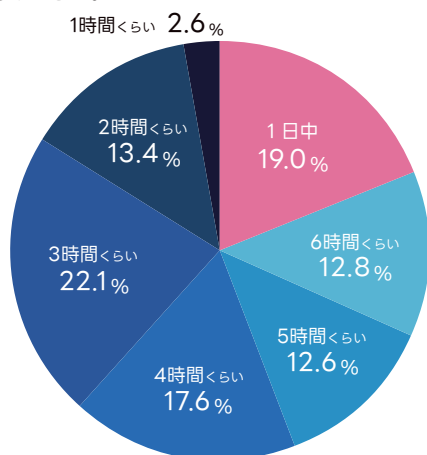
		10月14日(火)	10月15日(水)	10月16日(木)	10月17日(金)	合計
登録来場数	国内登録来場者数	14,752	18,777	20,433	26,652	80,630
	海外登録来場者数	542	236	268	200	1,230
	小計	15,294	19,013	20,701	26,852	81,860
登録プレス		340	116	79	100	635
出展関係者		4,840	4,304	3,821	3,424	16,389
合計		20,474	23,433	24,601	30,376	98,884

CEATEC 2025 来場者の属性 端数処理の関係上、構成比(%)の計が100%とならないことがあります。

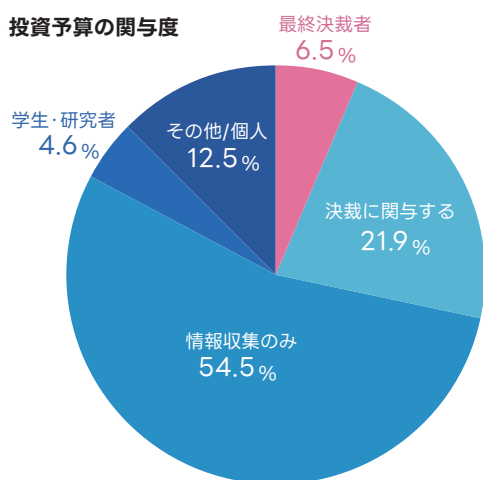


来場者アンケート

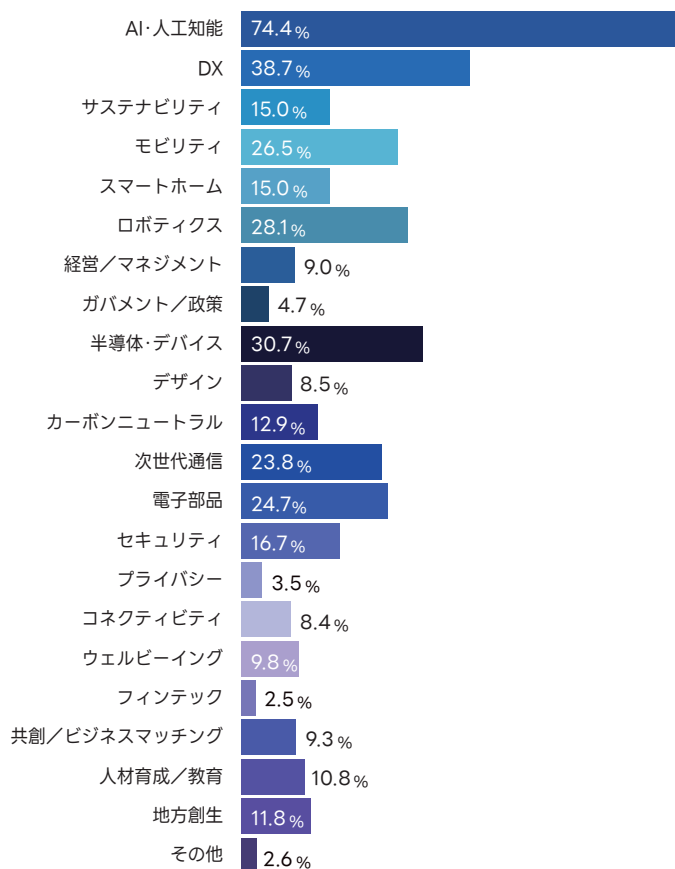
Q 『CEATEC 2025(幕張メッセ会場)』に滞在された時間を教えてください。2日以上ご来場の場合は、一番長く滞在された日の時間をお答えください。



Q 購買・投資予算の関与度



Q 『CEATEC 2025』において注目したキーワードを教えてください（いくつでも）。



CEATEC 公式Webサイト実績

測定期間：2025/9/1 - 2025/10/31

*セッション数・・・特定の期間内にWebサイトに訪問したユーザーの訪問回数
*参考出典 Googleアナリティクス

インプレッション数

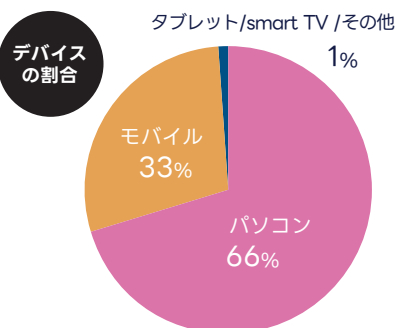
2,108,483件

セッション数

721,680件

公式メールマガジン配信先件数

約 37万 件/回
メールマガジン配信数 26回
(2025/1/20 - 2025/11/10)



国別
アクセス
ランキング

*セッション数

1 日本	679,523	6 韓国	2,099
2 アメリカ	14,403	7 香港	1,230
3 中国	9,209	8 インド	1,155
4 シンガポール	4,803	9 ドイツ	819
5 台湾	3,384	10 アイルランド	814



広報/公式WEBサイト

広報/プロモーション

登録プレス

オンラインニュース

集計期間：2025年8月1日～10月31日
検索ワード：CEATEC 関連ニュース

オンライン動画(Youtube等)

集計期間：2025年8月1日～10月31日
検索ワード：CEATEC 関連動画

635名

約21,900件

約1,200件

国内新聞

掲載数

300件

主要紙の記事見出し

- » 「自律型AI、暮らしの相棒 CEATEC開幕」(日本経済新聞)
- » 「豊かな未来へ 身近な新技術 シーテック 幕張で開幕」(読売新聞)
- » 「続々 お仕事お助けAI 先端技術の見本市「シーテック」開幕」(朝日新聞)
- » 「6G時代見据え競演 IT展示会 シーテック開幕 五感伝える新技術相次ぐ」(産経新聞)
- » 「最新AI展示会 開幕 シーテック 新興・大学機関最多」(毎日新聞)
- » 「先端技術ずらり シーテック開幕 主戦場はAI/世界への発信力課題」(東京新聞)

国内/海外 テレビ/ラジオ/オンライン動画メディア等

国内

主な放映/放送実績

47番組 2時間26分54秒

放送日	局	番組名	放送時間	内CEATECに関する放送時間
10月6日	NHK	おはよう日本	07:00-07:45	2:03
10月10日	NHKワールド	News Line	13:00-13:30 17:00-17:30	2:51
	BAYFM78	AWAKE	06:00-08:57	4:42
10月13日	日本テレビ	newszero	23:00-23:59	0:55
	TBS	ひるおび	10:25-13:55	1:23
	TBS	Nスタ	15:49-18:30	3:07
	フジテレビ	FNNLiveNewsdays	11:30-11:50	1:13
	フジテレビ	FNNLiveNews α	23:45-24:30	2:43
	テレビ朝日	大下容子のワイド！スクランブル(#1)	10:25-13:00	1:10
	テレビ朝日	大下容子のワイド！スクランブル(#2)	10:25-13:00	1:02
	Abema-TV	Abema News	04:00-07:00	0:57
	テレビ東京	ワールドビジネスサテライト	22:00-22:58	6:22
	BSテレビ東京	ワールドビジネスサテライト	23:00-24:00	6:22
10月14日	NHK	ニュース	13:00-13:05	2:02
	NHK	ニュース・気象情報	14:00-14:05	0:44
	NHK	ニュース・気象情報	15:00-15:07	0:28
	NHK	首都圏ネットワーク	18:10-19:00	3:14
	NHK	ニュースウォッチ9	21:00-22:00	5:53
	日本テレビ	Oha！4 NEWSLIVE	4:30-5:50	0:51
	日本テレビ	newsevery	15:50-16:45	1:33
	日本テレビ	newsevery	17:53-19:00	0:15
	TBS	TBSNEWS	3:45-4:30	2:53
	TBS	THETIME(#1)	4:30-5:20	1:30
	TBS	THETIME(#2)	5:20-8:00	4:56
	テレビ朝日	グッド！モーニング	4:55-8:00	1:35
	Abema-TV	Abema News	4:00-7:00	1:15
	テレビ東京	Newsモーニングサテライト	5:45-7:05	0:16
	テレビ東京	ワールドビジネスサテライト	22:00-22:58	6:15
	BSテレビ東京	NIKKEI NEWS NEXT	21:00-22:00	4:11
	BSテレビ東京	ワールドビジネスサテライト	23:00-24:00	6:15
	千葉テレビ	newsチバ 0600	18:00-18:25	1:51
10月15日	NHK	おはよう日本	5:00-8:00	1:18

放送日	局	番組名	放送時間	内CEATECに関する放送時間
10月15日	日本テレビ	Oha！4 NEWSLIVE	4:30-5:50	1:36
	日本テレビ	Zip	5:50-9:00	6:39
	TBS	ひるおび	10:25-13:55	18:47
	フジテレビ	めざましテレビ	5:25-8:14	2:02
	テレビ朝日	グッド！モーニング	4:55-8:00	3:47
	Abema-TV	Abema News	4:00-7:00	3:44
	BSテレビ東京	日経モーニングプラスFT	7:15-8:00	5:18
10月16日	日本テレビ	DayDay.	9:00-10:25	2:02
10月17日	テレビ東京	ワールドビジネスサテライト	11:00-11:58	0:32
	BSテレビ東京	ワールドビジネスサテライト	12:00-13:00	0:32
	NHK大阪	ほっと関西	18:10-19:00	7:16
	テレビ神奈川	tvkNEWS/ハーバー	18:00-18:30	1:48
	ラジオ日本	HAPPY VOICE from YOKOHAMA	12:00-15:00	7:28
10月18日	BS-TBS	Bizスクエア	11:00-11:54	2:32
10月19日	TBS	サンデーモーニング	8:00-9:58	5:20
	フジテレビ	日曜報道THE PRIME	7:30-8:55	1:05
10月20日	TOKYO MX	Wake Up7	7:00-7:30	3:40

海外

主な放映/放送実績

放送日	局	番組名	放送時間	内CEATECに関する放送時間
10月15日	KTLA-5	Morning News (Rich On Tech)	04:00-12:00	2:47
10月15日	BBC	Business Today #1	10:38-	2:39
10月16日	BBC	Business Today #2	10:38-	2:39
10月16日	BBC	Business Today #3	10:38-	2:39
10月18日	KTLA-5	Morning News (Rich On Tech)	04:00-12:00	2:55
10月18日	KFI AM 640	Rich On Tech	11:00-14:00	11:20
10月19日	710 WOR	Rich On Tech	08:00-11:00	11:20
(11月予定)	CNBC Asia	Channel Japan	10:00-10:30	(放送予定)

開催概要

名称	CEATEC 2025 (シーテック 2025) Combined Exhibition of Advanced Technologies
開催趣旨	経済発展と社会課題の解決を両立する「Society 5.0」の実現を目指し、あらゆる産業・業種の人と技術・情報が集い、「共創」によって未来を描く
会期	2025年10月14日(火)～ 17日(金) 10:00 ～ 17:00
会場	幕張メッセ(千葉県千葉市美浜区中瀬2-1)
入場	無料(全来場者登録入場制)
主催	一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)
共催	一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ) 一般社団法人ソフトウェア協会(SAJ)
後援	総務省、外務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、デジタル庁 (建制順) 独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ) 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 国立研究開発法人産業技術総合研究所(AIST) 国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT) 独立行政法人情報処理推進機構(IPA) 独立行政法人中小企業基盤整備機構 千葉県／千葉市 日本放送協会(NHK)／一般社団法人日本民間放送連盟 一般社団法人日本経済団体連合会／一般社団法人日本自動車工業会 日本商工会議所／東京商工会議所／千葉商工会議所 一般財団法人 日欧産業協力センター／カナダ共和国大使館 オンタリオ州政府 在日ウクライナ大使館／駐日ラトビア共和国大使館／駐日ウズベキスタン共和国大使館 (順不同)
運営	CEATEC 運営事務局(一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会)

